

特 別 活 動

目 次

○ 指導計画作成の立場	419
○ 活用上の留意点	420
○ 全体計画	421
○ 児童生徒会活動	422
・ 基本的な考え方	422
・ 各種委員会活動内容例	424
○ 学級会活動	429
・ 基本的な考え方	429
・ 指導計画	431
小学部高学年	431
中学部	437
高等部	444
○ クラブ活動	449
・ 基本的な考え方	449
・ 各クラブ活動内容例	451
○ 学校行事	459
・ 基本的な考え方	459
・ 指導計画	461
儀式的行事	461
学芸的行事	465
体育的行事	467
保健安全の行事	472
遠足旅行の行事	475
勤労生産の行事	484
○ 学級指導	486
・ 基本的な考え方	486
・ 指導計画	488
中学部	488
高等部	493

1 指導計画作成の立場

(1) 基本的考え方

特別活動は、望ましい集団活動を通して「人間性豊かで家庭生活や社会生活に自立できる子どもを育てる」本校教育目標を達成するための教育活動の一領域である。そして、教師と児童、および児童生徒相互のあたたかいふれ合いを基盤とした望ましい集団による活動を通して、より豊かな学校生活を体験させて個性を伸ばし、仲間意識を高めるとともに実践力を養い、心身の調和的発達を図って社会生活を営む上に必要な基礎的資質を養うところに意義がある。

精神発達が遅滞している児童生徒は、一般的に自己中心的な言動がみられ、集団活動への積極的な参加はあまり見られない。

本校の児童生徒の中には、目標に向かって活動しようとする者もいるが、自他の区別ができなかったり、友達とのかかわりができなかったりなど仲間意識が低く、集団活動をすることが難しい者が多い。また、理解力や判断力が劣るため活動の手順や方法がわからなかったり、他への依頼心が強かったりしてすすんで活動できず、一つ一つの活動に補助や助言がないと参加できない者も多い。

このような児童生徒に対して集団で活動する経験を深めさせることにより、仲間意識を育て、自ら活動しようとする自主的実践的態度を育てる特別活動の意義は大きいと考える。

そこで本校では、精神薄弱養護学校における望ましい特別活動のあり方を求めて、児童生徒の実態や学校の立場を考慮して指導計画を作成し、次のようなことに視点を当てて展開することにした。

○ 仲間意識を育てるために

対人関係や集団行動を向上させるためには、児童生徒が相互に信頼し合い、自由な雰囲気の中で活動する集団を育てる必要がある。

そのために児童生徒の話し合いによる集団を作ったり、一人ひとりの発達段階や個性などを考慮した意図的な集団を作ったりする。そして、明るく楽しい雰囲気の中で互いに助け合い励まし合う相互援助の活動を多く体験させる。こうして所属する集団に安心感や安定感を持ち、活動する喜びをお互いが感じることで所属感を育てることができる。

また、自由な雰囲気の中にも規律を守り、自己規制して、よりよい行動を求めて活動させることでさらに望ましい人間関係の確立を図ることができる。

○ 自主的、実践的態度を育てるために

一人ひとりが、積極的に活動するためには、児童生徒の活動意欲を刺激する内容や方法を設定し、活動を習慣化することが必要である。

そのために、児童生徒に興味のある活動や興味関心を引き出すことのできる活動を設定する。そして実際活動に児童生徒の活動の未熟さや失敗の経験に配慮しつつ自由な発想を取

り入れたり、自らの力で目標設定や役割分担をさせたりなど、児童生徒の発達段階や欲求に基づいた自発的活動を十分尊重する。このことにより児童生徒は、活動を自分たちのものとして受けとめることができるとともに、友達と協力し合って活動することを通して手順がわかりやすく見通しも持ちやすくなり、すすんで活動に取り組むことができる。そして集団の中で助け合い励まし合って活動する喜びを味わいながらやり遂げることにより、満足感や成就感を味わい、一人ひとりが活動への自信を持つことができる。このような経験を積み重ねることにより活動が習慣化され、さらに毎日の生活における実際活動として生かすこともできる。

以上のような考えに基づいて特別活動を計画、展開することにより、児童生徒は生き生きと活動でき、一人ひとりが持っている能力を十分発揮して目的に向かって精いっぱいがんばるものとする。

(2) 目 標

- 望ましい集団による実際活動を通して、心身の調和のとれた発達を図るとともに仲間意識を持たせたり、自主的、実践的態度を育てたりなど、よりよい生活を営む上に必要な基礎的資質を伸ばす。

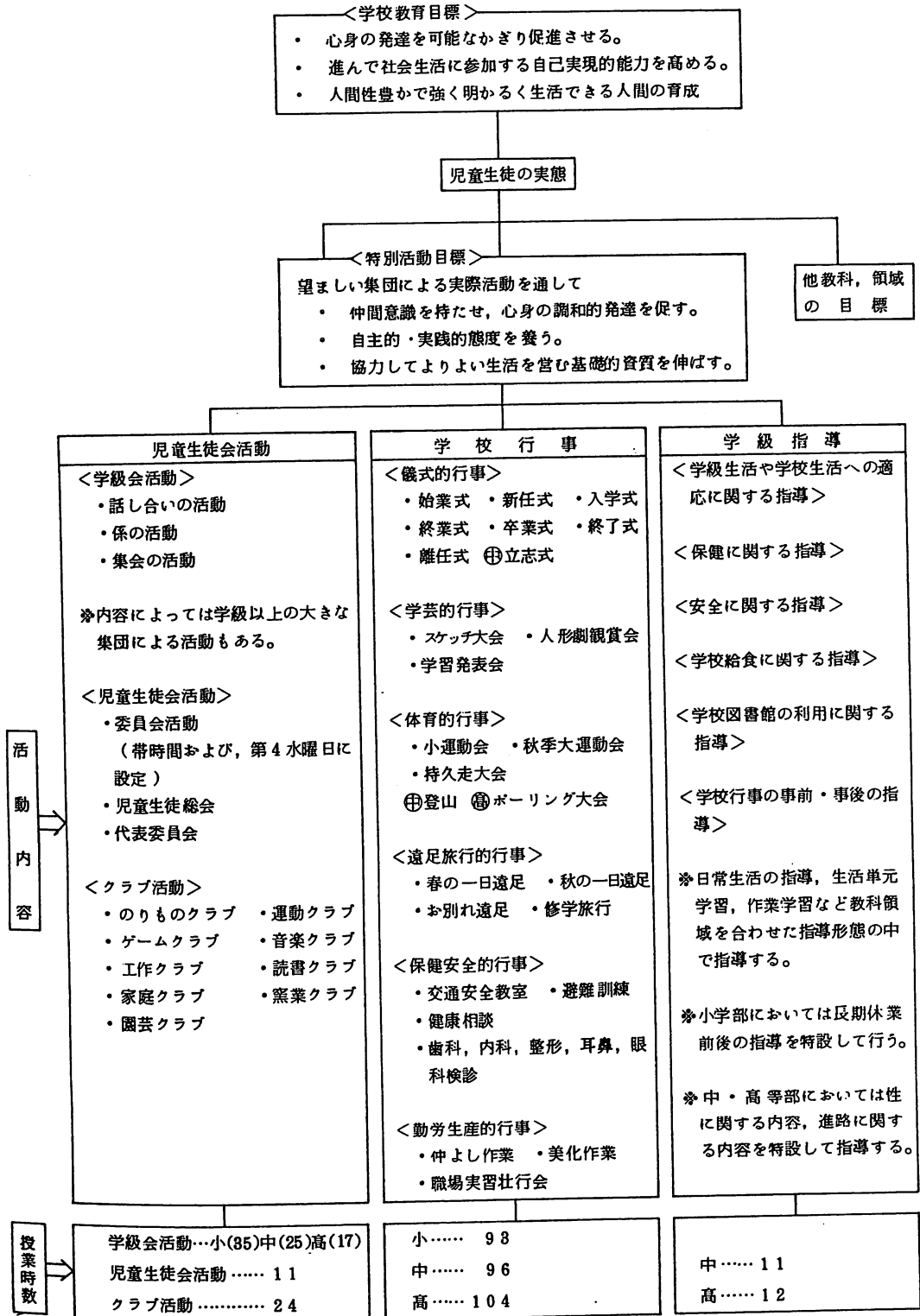
(3) 指導計画作成上の配慮事項

- 特別活動の意義や目標をふまえ、個々の内容のねらいを明確にする。
- 児童生徒の生活年齢や社会生活経験などを基にして発達段階に即した活動が準備できたり、意見や希望を反映させたりできるものであること。
- 社会性の伸長を図るための交流会や奉仕活動については、機会あるごとに積極的に取り組むようにする。
- 他教科、領域との関連を十分図る。
- 児童生徒活動、学校行事、学級指導などの相互の関連を図る。

2. 活用上の留意点

- 児童生徒の実態を考慮し、指導時数や具体活動など柔軟性を持って扱うようにする。
- 実施計画作成の段階から可能な限り児童生徒を参加させるようにする。
- 実施に当っては、全校職員あるいは学部職員の共通理解を得ることとする。
- 必要な経費については、年度当初に予算化しておくこと。
- 実施後においては、評価を明確にして次回および次年度の資料とすること。

3. 全体計画



児童生徒会活動

1. 基本的な考え方

児童生徒会活動は、全校的な組織のもとに児童生徒が自らの学校生活の充実と改善をめざして自発的、自治的な活動を展開することを本旨とする集団活動であり、精神発達遅滞児においても、自主的・社会的な生活態度を育てる場として教育的意義は大きい。

しかし、本校の児童生徒は、自分たちの学校生活上の問題に対する意識は低く、自発的に活動する姿はあまり見られない。また、話し合い活動や実践活動での手順や方法についての理解も弱く、計画、実践においては常に教師のはたらきかけが必要である。

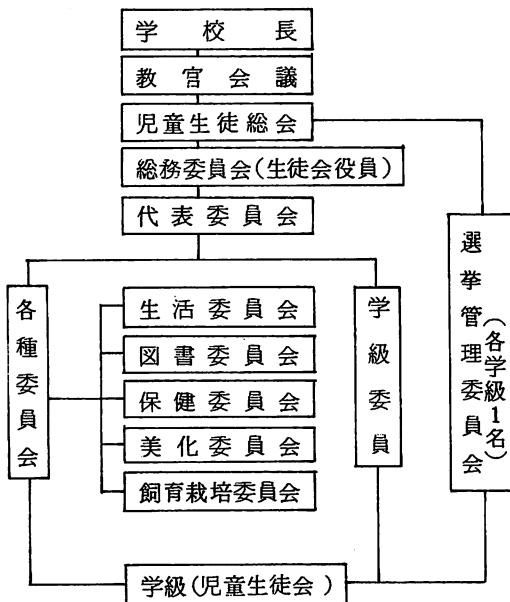
そこで、本校ではこの活動を実践活動を中心に展開し、習慣化を図りながら具体的に学校生活上の問題や解決策に気づかせ、自主的、自発的な活動の意欲が高まるようにする。そのために、実態に即した組織や活動を組み、できる範囲で自分たちの学校生活の向上を図らせることを通して、集団への所属感や連帯感を育て、自ら計画・運営する満足感や集団生活に寄与する喜びをもたせていく。また、リーダーの育成を図りながら学校生活全般を通して、できるだけ児童生徒が主体となって活動する場を多く設定していく。さらに委員会活動を常時活動として実施したり、奉仕的な活動を取り入れたりしながら仕事への自覚と責任を持たせると共に、学校内外のものへの視野も広げ、より積極的な生活態度の形成を図っていく。

2. 目標

実践活動を通して集団の一員としての自覚を持たせるとともに、自発的・自治的な活動の意欲を高め、自らの学校生活上の問題を積極的に解決していこうとする態度を育てる。

3. 組織・運営

<組織>



<運営>

- この会には児童生徒全員が入り、会の運営は小学部の高学年以上が行う。
- この会の役員は会長1名、副会長2名(男女各1名)、書記2名とし、任期は6ヶ月間とする。
- 総務委員会、代表委員会は必要に応じて開く。
- 代表委員会は役員、各種委員会代表1名、各学級委員で構成する。
- 児童生徒総会は5月、12月の年2回開く。
- 各種委員会は第4週水曜日の5校時と月～金曜日の8:40～8:50の時間帯で行う。

4. 配慮事項

- 全校朝会，学部朝会，その他の集会活動において進行等できるだけ児童生徒を前面に出し自主的な参加態度を育てる。
- 実践活動を通して具体的に学校生活上での問題に気づかせ，話し合い活動においては，身近な問題を発表できるように援助していく。
- 諸活動計画には児童生徒の意見を最大限にとりいれ，実態に即した活動ができるようにする。
- 委員会活動は学校生活全体の中で常時活動として行えるように配慮し各委員会相互に連携をもたせていく。
- 奉仕的活動等機会に応じて全校的に取り組める活動を設ける。

5. 活動形式

(1) 児童生徒会役員選挙

- ① はじめのことば
- ② 児童生徒会長の話
- ③ 立候補者，応援者の演説
- ④ 投票方法についての説明
- ⑤ 投票
- ⑥ 投票結果発表の期日について
- ⑦ 講評
- ⑧ おわりのことば

(2) 児童生徒総会

- ① はじめのことば
- ② 児童生徒会長の話
- ③ 各種委員会からの報告
- ④ 話し合い
(意見を出しやすい議題を設定する)
- ⑤ 児童生徒会副会長の話
- ⑥ 講評
- ⑦ おわりのことば

(3) 各種委員会

ア. 帯時間での活動（実践活動）

（月～金曜日 8:40～8:50）

- ① 朝のあいさつ
- ② 活動にあたっての話
- ③ 実践活動
- ④ 仕事の確認
- ⑤ おわりのあいさつ

ウ. オリエンテーション

- ① 先生の話
- ② 自己紹介
- ③ 役員の選出
(委員長，副委員長，書記各1名)

イ. 特設時間での活動（主として話し合い活動）

（月1回—第4週水曜日5校時）

- ① はじめのあいさつ
- ② 今月の反省
- ③ 来月の活動計画と努力点
- ④ 実際活動
 - 掲示物準備，用具の手入れなど
- ⑤ おわりのあいさつ

- ④ 活動内容についての話し合い及びグループ編成

- ⑤ 実際指導

- 集合場所，活動のし方，用具等についての確認

各種委員会活動内容例

委員会名	生活委員会		
目 標	○ くつ箱の整理や旗揚げ等の活動を通して、協力してみんなが気持ちよく生活できるような場を作ろうとする態度を育てる。		
月	主な活動内容例	留 意 点	準 備
4 月 3	<p>1. くつ箱の整理をする。</p> <p>(1) 棚の掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 土落とし ○ 棚ふき <p>(2) くつを並べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上ばきと下ばき ○ くつの方向 <p>(3) くつ箱周辺の掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ほうきではなく ○ ぞうきんでふく <p>2. 旗揚げをする。</p> <p>(1) 旗をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国旗 ○ 校章旗 <p>(2) ロープを引く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旗揚げ <p>3. チェーンはりをする。</p> <p>(1) チェーンがけをする。</p> <p>(2) 台を移動する。</p> <p>4. 朝の放送をする。</p> <p>(1) 委員会活動の始まりと終りの放送</p> <p>(2) 音楽をかける。</p> <p>5. 更衣室の整理をする。</p> <p>(1) ロッカーの整理をする。</p> <p>(2) 室内の掃除をする。</p> <p>6. あいさつ運動をする。</p> <p>(1) 朝の放送での呼びかけ。</p> <p>(2) 校門での活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ぞうきんをしばったり、靴を並べたりする活動を互いに助け合いながらさせる。 ○ 棚の土はぞうきんですみずみまできれいにふかせる。 ○ 上ばきと下ばきの段を間違えているものを、きちんとなおさせる。 ○ くつの土をしっかりおとすように全体になげかけさせる。 ○ 旗をつける者とロープを引く者など能力に合わせて役割を分担して行わせる。 ○ 旗の上下を間違わないように注意させる。 ○ チェーンがたるまないように台を置かせ、自転車等でチェーンの先に行かないよう全体になげかけさせる。 ○ 放送者は毎日交代で行わせ、放送の内容は、児童生徒の実態に合わせ適宜変えて行わせる。 ○ 全員を三つのグループに分け、学部間交流の形態で活動させる。また、きちんと整理されていた所は発表させる。 ○ 朝の放送を利用したり、校門前で実際に活動させたりして、全校への意識化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきん ・ほうき ・バケツ ・国旗 ・校章旗 ・チェーン ・設置台 ・放送原稿 ・音楽テープ ・ぞうきん ・バケツ ・ほうき ・放送原稿 ・ポスター ・タスキ

委員会名	図 書 委 員 会		
目 標	○ 図書の貸し出しや整理, 図書室の清掃などの活動を通して, 図書委員としての自覚をもたせ, 自発的に活動しようとする態度を育てるとともに, 協調性や協力を養う。		
月	主 な 活 動 内 容 例	留 意 点	準 備
4 月 8	1. 本の整理や修理をする。 (1) 種類別に本を整理する。 (2) 破損箇所を修理する。 2. 移動図書をする。 (1) 図書を選定する。 (2) 図書の配本と回収をする。 3. 貸し出しをする。 (1) 貸し出しカードや返却箱を作成する。 (2) 返却印を押す。 (3) 返却本を書架に戻す。 4. 新刊準備をする。 (1) シールをはる。 (2) 学校印を押す。 (3) 本を書架に並べる。 (4) 新刊を紹介する。 5. 図書室の清掃をする。 (1) 机, 椅子の整理をする。 (2) 書架の上や中をふく。 (3) 窓の灰を除去する。 (4) 手洗い場の清掃をする。 (5) ちりを捨てる。 (6) 掃除機をかける。 (7) 黒板やラールをきれいにする。 (8) 黒板下の溝をふく。 6. 活動の反省をする。	○ 図書の整理や修理は必要に応じて行わせる。修理はテープをはる程度に押さえる。 ○ 移動図書の選定にあたっては, できるだけ委員の意見を尊重し, 1ヶ月ごとに図書の変更を行う。 ○ 図書への関心をもたせ, 図書利用を促進するために, ポスター作りや全校朝会等での紹介に努めさせる。 ○ 特に長期休業中の貸し出しを推進する。 ○ 図書分類はラベルの代わりにシールの色別で行う。 ○ 掲示板やT・V朝会等を通して新刊紹介を積極的にさせる。 ○ 図書室をいつでも気持ちよく利用できるように清掃は常時活動として位置づける。 ○ 清掃にあたってはグループを編成し, 仕事分担しながら協力して仕事がすすめられるようにする。 ○ 降灰の状況や書架の汚れ具合によっては, 図書を全部書架から出して清掃させる。 ○ 自発的な活動や協調的な態度を中心に反省させる。	・シール ・セロテープ ・はさみ等 ・移動図書目録 ・貸し出しカード ・ポスター作成用具 ・長期休業中貸し出し案内など ・シール(数色) ・スタンプほか ・お知らせカード ・ぞうきん ・掃除機 ・ラール ・チョークほか

委員会名	保 健 委 員 会		
目 標	○ 全校児童生徒が使う保健室や手洗い場、トイレの点検や掃除の活動を通して、保健衛生に対する意識を高めるとともに、進んで活動しようとする態度を育てる。		
月	主な活動内容例	留 意 点	準 備
4 月 3	1. 保健室の掃除をする。 ○ 床掃き ○ モップかけ ○ ちり捨て ○ 机、いすふき ○ マット洗い 2. 各学級を巡回して、石けんの補充を行う。 3. 歯みがきカレンダーを集める。 4. トイレ内の点検をする。 ○ スリッパそろえ ○ マットそろえ ○ 手洗い場みがき ○ 石けん補充 ○ トイレットペーパー補充 ○ 窓あけ 5. 校舎外の足洗い場を掃除する。 ○ チリ捨て ○ 足洗い場みがき ○ ホースの後始末 6. 体育館の整理をする。 ○ 鍵開け ○ 窓開け	○ ちり捨て係、モップ係、ぞうきん係などの役割を分担して、自分の仕事を明確にする。 ○ 上級生と下級生が協力して活動できるように、縦割集団を編成する。 ○ 石けんの有無及び補充は週に1回行わせ、歯みがきカレンダーは、月に一回の集収日を設定して行わせる。 ○ トイレ内の点検は、年間を通して継続的に行わせる。 ○ 石けんとトイレットペーパーは、あらかじめ数個用意しておき、持ってまわるようにさせる。 ○ 活動時間の関係上、足洗い場の掃除は、一日に一か所として、交互に行わせる。 ○ 各係の仕事は、個々の実態に応じて、ひとり一役を一定期間継続して行わせる。 ○ 掃除用具の準備・後始末は協力して行わせる。	・ ほ う き ・ ちりとり ・ モ ッ プ ・ ぞうきん ・ 新 聞 紙 ・ ホ ー ス ・ 石 け ん ・ 洗 剤 ・ スポンジ ・ 使い古しの歯ブラシ ・ 石 け ん ・ トイレットペーパー ・ 洗 剤 ・ たわし ・ ホース

委員会名	美化委員会		
目 標	<p>○ 掃除や整理整とん等の活動を通して、具体的に校内美化での問題点に気づかせるとともに、他と協力しながらすすんで活動しようとする態度を育てる。</p>		
月	主な活動内容例	留意点	準 備
4 5 3	<p>1. 玄関の掃除をする。</p> <p>(1) ちりをはく。</p> <p>(2) ちりをとる。</p> <p>(3) マットを洗う。</p> <p>(4) ドアレールのちりをとる。</p> <p>2. のりものの整理をする。</p> <p>(1) のりものを移動する。</p> <p>(2) のりものをふく。</p> <p>(3) ちりをはく。</p> <p>(4) ちりをとる。</p> <p>(5) のりものを整理する。</p> <p>3. 校門付近の掃除をする。</p> <p>(1) ちりや落葉をはく。</p> <p>(2) 空かん等を拾う。</p> <p>(3) ちりを捨てる。</p> <p>4. 廊下や階段の掃除をする。</p> <p>(1) ちりをはく。</p> <p>(2) モップをかける。</p> <p>5. ちり焼場の掃除をする。</p> <p>(1) 灰をとり出す。</p> <p>(2) 危険物を捨てる。</p> <p>6. 除草作業をする。</p> <p>○ライトコート</p> <p>○玄関付近</p> <p>7. 窓ガラスをふく。</p> <p>8. 溝の掃除をする。</p> <p>9. 校内を巡視して気づいたちりを拾ったり、整理整とんをしたりする。</p>	<p>○ 活動全般を通して、マット係、のりもの係等で役割分担し、協力して行わせる。</p> <p>○ 降灰の時期は全員でその除去作業を行う。</p> <p>○ 玄関の掃除と、のりものの整理は年間を通して行い、その他の活動は、季節やその場の状況に応じて組み入れ、全員または班別に行わせる。</p> <p>○ 各係の仕事は、個々の実態に合ったものとなるように助言し、一定期間継続して行わせる。</p> <p>○ ちりとり係は、一週間交替で行わせ、取り残しのないようにする。</p> <p>○ 掃除用具の準備、後始末は各自責任をもって行わせる。</p> <p>○ 校内巡視で具体的に問題点に気づかせる等して美化活動への意識づけを図る。</p>	<p>・ほうき</p> <p>・ちりとり</p> <p>・ホース</p> <p>・電気掃除機</p> <p>・ほうき</p> <p>・ちりとり</p> <p>・ぞうきん</p> <p>・庭ぼうき</p> <p>・一輪車</p> <p>・リヤカー</p> <p>・ちりとり</p> <p>・ほうき</p> <p>・ちりとり</p> <p>・モップ</p> <p>・灰とり用具</p> <p>・ちりとり</p> <p>・竹べら</p> <p>・芝かり機</p> <p>・布</p> <p>・スコップ</p> <p>・庭ぼうき</p> <p>・一輪車</p>

委員会名	飼育・栽培委員会		
目 標	○ 草花や動物の世話を通して、生き物に興味・関心をもたせるとともに、互いに協力しながらすすんで取り組もうとする態度を養う。		
月	主な活動内容例	留意点	準 備
4 5 3	1. 学校園の手入れをする。 (1) 草取りをする。 (2) 中耕をする。 (3) かん水する。 (4) 追肥をする。 2. 草花の栽培をする。 (1) 苗床を作る。 (2) 種をまく。 (3) かん水する。 (4) 移植をする。 (5) 定植をする。 3. 鉢物にかん水する。 ○ 玄関の鉢物 ○ 裏庭の鉢物 4. うさぎや小鳥の世話をする。 (1) えさを集める。 (2) えさを与える。 (3) 水を取り換える。 (4) 小屋の掃除をする。 5. 温室の手入れをする。 (1) 鉢物の整理をする。 (2) かん水する。 (3) 草取りをする。 (4) 掃除をする。	○ 各活動内容は季節や状況に応じて、相互に組み合わせ、役割を分担して行わせる。 ○ 役割は児童生徒の希望を取り入れながら、1人ひとりの実態に応じて分担させ、一定期間継続して行わせる。 ○ 栽培した草花は、各学級に配らせ、学級会活動との関連を図る。 ○ かん水場所を割り当て、夏季は十分にかん水させる。 ○ うさぎや小鳥の世話は年間を通して行い、役割を変えてすべての児童生徒に経験させる。 ○ フンは始末する場所を決めておく。 ○ 温室は温度の調節に気を付けさせる。 ○ 用具の準備・後始末は各自責任をもって行わせる。	・ 移植ごて ・ くわ ・ ホース ・ スコップ ・ 一輪車 ・ 草花の種 ・ 移植ごて ・ ジョロ ・ 鉢 ・ スコップ ・ 一輪車 ・ ホース ・ ジョロ ・ ほうき ・ ちりとり ・ ホース ・ ジョロ ・ ほうき ・ ちりとり

学級会活動

1. 基本的な考え方

学級会活動は、児童生徒が学級の一員として何らかの役割を分担し、協力して、学級の問題の解決に努め、学級生活の向上発展を目指して行う自発的、自治的な活動である。児童生徒はこの活動を通して、集団への所属感、協調性、親和、友情などのもつ意義を体得することができる。

本校の児童生徒は、話し合いの活動や集会の活動、係の活動を自分から進んで行うことは難しいが、教師が中心となってすすめたり、補助や助言を与えたりすることで活動に参加することができる。

そこで本校では、児童生徒の発達段階を踏まえて、児童生徒なりに解決可能な問題を取り上げながら、話し合いの仕方や実際の活動方法を実践の中で学ばせるとともに、みんなで活動する楽しさを味わわせる。係の活動方法は、主に一日の生活の流れにそって実際の活動場面を通して具体的に指導する。また、話し合いの活動や集会の活動については、主に特設の時間で扱い、学級単位の活動以外にも学部全体での活動を通して指導できるようにし、各学部においては、次のような点に留意して活動させるようにする。

小学部では、話し合いの活動や集会の活動を教師と共に活動することによって、楽しく参加できるようにする。

中学部では、教師の助言の基に、司会や進行、記録などの役割分担をし、話し合いの活動や集会の活動を進められるようにする。

高等部では、話し合いの活動を多く取り入れ、教師の補助や助言を少なくして、小学部・中学部での経験を基に、計画立案から運営までを、できる限り生徒自身に任せるようにする。

2. 目標

学級生活を楽しく充実したものにするための内容を話し合い、実践することを通して学級の一員としての意識を養う。

3. 組織・運営

- 特設の時間は、小学部高学年以上とし、週一時間設定する。
- 学級会の組織は、個々の児童生徒の特性、希望などを尊重する。
- 係は、適宜交替させ、なるべく多くの係を経験させる。
- 学級単位の活動以外に、学部全体での活動を設定する。

4. 配慮事項

- 計画は、小中高の発達段階を踏まえて、関連を図る。
- 話し合いの活動は、児童生徒にとって身近に関心があり、しかも、全員が協同して具体的に解決できるものであること。
- 集会の活動は行事や季節との関連を図りながら、できるだけ児童生徒が自分たちの創意工夫を生かして、楽しく参加できるものであること。

- 係の名称は、児童生徒の発達段階に応じて、適宜設定する。
- 実施にあたっては、児童生徒の実態に応じて弾力的に取り扱う。

学級会活動主題名一覧表

月	主 題 名					
	小 学 部	ページ	中 学 部	ページ	高 等 部	ページ
4	係の仕事を決めよう	431	自分の係	437	一日遠足の計画調べ	444
	こいのぼり子供会をしよう	431				
5	こいのぼり子供会	432	小運動会の係	437	小運動会	444
	学級園の手入れ	432	児童生徒会役員選出	438	児童生徒会役員選出	445
			係の仕事	438		
6	いも植え	433	学級園の手入れ	439		
	室内ゲーム大会	433	雨の日の過ごし方	439		
	たなばた子供会をしよう	431	室内ゲーム大会	440		
7	たなばた子供会	432	一学期の反省	440		
	係の仕事の反省	434				
8	係の仕事を決めよう	431	自分の係	437	新しい学級組織	445
	教生先生の歓迎会	434	教生先生の歓迎会	441	教生先生の歓迎会	446
	教生先生とのお別れ会	435	教生先生とのお別れ会	441	教生先生とのお別れ会	446
	十五夜子供会をしよう	431				
10	十五夜子供会	432	学級園の手入れ	439	教生先生の歓迎会	446
	教生先生の歓迎会	434	教生先生の歓迎会	441	教生先生とのお別れ会	446
	教生先生とのお別れ会をしよう	435	教生先生とのお別れ会	441		
	教生先生とのお別れ会	435				
11	学級園の手入れ	432	係の仕事	438	一日遠足の計画調べ	444
	いもほり	436	スポーツ大会	442		
12	室内ゲーム大会	433	児童生徒会役員選出	438	児童生徒会役員選出	445
	係の仕事の反省	434	二学期の反省	440		
1	係の仕事を決めよう	431	自分の係	437	新しい学級組織	445
	せつぶん子供会をしよう	431	正月の遊び	442		
2	せつぶん子供会	432	卒業記念品づくり	443	映画鑑賞会	447
	室内ゲーム大会	433			学習発表会	447
	ひなまつり子供会をしよう	431				
3	ひなまつり子供会	432	学級お別れ会	443	一日遠足の計画調べ	444
	係の仕事の反省	434	三学期の反省	440	年間の反省	448
	教室の整理をしよう	436				

学級会活動指導計画

小学部高学年

主題例	係の仕事を決めよう	月	4, 9, 1	時間	各 1
目 標	○ 教師と一緒に学級生活に必要な係を知ったり、自分の係を決めたりして、実際に係活動ができるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 話し合うことを知る。 ○ 係の仕事 2. 今まで経験した係を発表する。 3. 係を決める。 4. 活動の内容を確認する。 ○ 活動の実際 ○ 係活動確認板の使用 ○ 活動の報告	○ 教師が司会をしながら、話し合う内容を知らせる。 ○ 係活動をしている写真や絵カードなどを提示し、いろいろな係を思い出させる。 ○ 写真や絵カードをとらせることにより、自分がしたい係を決めさせる。 ○ 実際に係活動をすることによりそれぞれの活動の内容や手順を確認させる。 (例)「わたしは、花の水をかえました。」	・写真 ・絵カード ・係活動確認板	・国語 Ⅱ-6 Ⅲ-4 ・生・役 Ⅱ-4 ・生・手		

主題例	〇〇子ども会をしよう	月	4, 6, 10, 1, 2	時間	各 1
目 標	○ 教師と一緒に〇〇子ども会での出し物や係(役割)を決める活動を通して、〇〇子ども会の計画を立てることができるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 〇〇子ども会の期日について知る。 ○ 〇月〇日 〇曜日 2. 昨年の子どもの会の8ミリ(VTR)を見る。 3. 子ども会の計画をたてる。 (1) 出し物を決める。 ○ 歌 ○ リズム (2) 係(役割)を決める。 ○ 司会 ○ はじめのことば ○ おわりのことば 4. 出し物の練習をする。	○ 行事ごよみ表を見せながら、子ども会の期日を確認させる。 ○ 8ミリ(VTR)を見せながらどんな活動をしたか発表させる。 ○ 話し合う内容を提示する。 ○ 日ごろ学級で取り扱っているものから出し物を決めさせる。 ○ 子ども達の希望を尊重するとともに、全員が係(役割)を経験できるように、年間を通して配慮する。	・行事ごよみ表 ・8ミリ(VTR) ・カセットテープ	・算数 Ⅲ-7 ・生・役 Ⅱ-4 ・国語 Ⅱ-6 Ⅲ-4		

主題例	〇〇子ども会	月	5. 7. 9. 2. 3	時間	各 1
目 標	〇 教師と一緒に〇〇に関する歌をうたったり、レクリエーションをしたりして、〇〇子ども会ができるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 子ども会の準備をする。 2. 〇〇子ども会をする。 会 順 (1) はじめのことば (2) 先生の話 (3) みんなで歌おう (4) レクリエーション 〇 こいのぼり競争(5月) 〇 願いごと発表(7月) 〇 綱引き、すもう(9月) 〇 豆まき(2月) 〇 おひな様遊び(3月) (5) おわりのことば 3. 後始末をする。	〇 会場やレクリエーションの準備をさせ、子ども会への意欲をもたせる。 〇 各子ども会において、一人ひとりに役割を分担し、みんなで協力して、子ども会が進められるようにさせる。 〇 各子ども会ごとに、特徴のあるレクリエーションを計画させておく。 〇 みんなで協力して後始末させる。	・飾り ・いす ・プログラ ム ・カセット テープ ・こいのぼり ・短冊等	・生・役 Ⅲ-1 2 ・音楽 Ⅱ-13		

主題例	学級園の手入れ	月	5. 1 1	時間	各 2
目 標	〇 教師と一緒に学級園の手入れをしたり、苗を植えたりすることにより、自分たちの学級園を大切にすることができるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 学級園に新しい苗を植えることを知る。 2. 用具の準備をする。 〇 苗、肥料、スコップなど 3. 作業をする。 (1) 土を掘り起こす。 (2) 肥料を入れる。 (3) 苗を植える。 (4) 水をまく。 4. 用具の後始末をする。 〇 土落し	〇 昨年の秋(春)のころに咲いていた花の写真を見せながら、植え替えをすることに気づかせる。 〇 全員が活動できるように、役割を分担する。 〇 一人のできる児童には、できるだけ声かけをし、最後までがんばらせる。 〇 水かけ当番を決める。 〇 全員で用具の後始末をさせる。	・写真 ・図鑑 ・苗 ・肥料 ・スコップ ・移植ごて ・一輪車	・生・手 Ⅲ-6 ・生・役 Ⅱ-4 Ⅲ-4 ・生・自 Ⅲ-2 ・生・手 Ⅱ-7 8		

主題例	いも 植 え	月	6	時間	2
目 標	○ 教師と一緒に畑を耕したり、さつまいもの苗を植えたりすることにより、「ふようまつり」で使うさつまいもを大切に育てることができるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 附養まつりのビデオを見る。 (1) 出店で使った材料を発表する。 ○ さつまいも (2) さつまいもを植える準備を知ることを知る。 2. 道具の準備をする。 ○ 苗, 移植ごてなど 3. うねをつくる。 (1) 畑の草とりをする。 (2) 畑を耕やす。 (3) うねをつくる。 4. 苗を植える。 5. 道具の後始末をする。	○ かりんとうなどを見せて、「ふようまつり」で使ういもを育てる意識をもたせる。 ○ 学級園の手入れの経験をもとに準備をさせる。 ○ いもの苗は、あらかじめ準備しておく。 ○ 畑は教室から近い場所にして、観察ができるようにする。 ○ くわなどを使う時は、安全面に十分配慮する。 ○ 植え付けは、みんなで協力してさせる。	・ビデオ ・かりんとう ・さつまいも ・苗 ・移植ごて	・生・手 Ⅲ-6 ・生・役 Ⅱ-4 Ⅲ-4 ・生・自 Ⅲ-2 ・生・手 Ⅱ-7 8		

主題例	室内ゲーム大会	月	6. 12, 2	時間	各 2
目 標	○ 教師と一緒に雨の日(寒い日)の過ごし方や室内での遊びについて話し合いをすることで、室内ゲーム大会の計画を立てたり、ゲーム大会をしたりできるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 歌をうたう。 2. 雨の日(寒い日)の過ごし方について話し合う。 ○ 室内での遊び ○ ゲーム 3. 室内ゲーム大会の計画を立てる。 ○ 内容 ○ 係分担 4. 室内ゲーム大会をする。 (1) 準備をする。 (2) ゲームをする。 ○ ボーリング, 輪投げ, かるたとり, すごろくなど (3) 表彰式をする。 5. 後始末をする。	○ 季節に合った歌をうたわせる。 ○ 屋外で遊べない時の過ごし方を考えさせ、室内での遊び方を工夫させる。 ○ 季節感のあるゲームなどを取り入れていくようにする。 ○ 必要な遊具を協力して準備させる。 ○ 計画したことを実践させながらいろいろな遊びを経験させるようにする。 ○ 表彰したり、ほめたりして、休み時間の遊びへと発展させる。	・遊具 ・賞状	・生・自 Ⅱ-7 ・生・遊 Ⅲ-1 2 10 11 ・生・遊 Ⅲ-12		

主題例	係の仕事の反省	月	7, 12, 3	時間	各 1
目標	○ 自分の係の仕事を友達に見せたり、仕事の内容やがんばったことなどを発表したりできるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 話し合いの内容を知る。 ○ 係の仕事の反省 2. ○学期の自分の係の仕事を発表する。 ○ 花係、黒板係、こよみ係など 3. 係活動をする。 ○ 活動の実際 ○ 係活動確認板の使用 ○ 活動の報告 4. 自分の係の仕事の反省をする。 ○ がんばったこと ○ むずかしかったこと	○ 話し合いの内容については教師が提示する。 ○ 表出言語のない子どもには、絵カードや文字カードを準備する。 ○ 一人ずつ係の仕事をさせたり、係活動確認板を使って報告させたりしながら、互いの係の仕事を見るようにさせる。 ○ 係の仕事でがんばったことを賞賛したり、「がんばり賞」を準備したりする。	・絵カード ・文字カード ・係活動確認板 ・がんばり賞	・生・役 Ⅲ-3 ・生・役 Ⅲ-11		

主題例	教生先生の歓迎会	月	9, 10	時間	各 1
目標	○ 教生先生を気持ちよく迎え、一緒に自己紹介をしたり、レクリエーションをしたりして、早く仲よしになれるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 会場の準備をする。 2. 歓迎会をする。 会 順 (1) はじめのことば (2) 先生の話 (3) 自己紹介 (4) 歓迎のことば (5) プレゼント (6) レクリエーション 「握手でこんにちは」 (7) おわりのことば 3. 後始末をする。	○ 自分のいすを運んだり、教生先生へのプレゼントを準備したりさせる。 ○ ひとりで自己紹介をさせる際、表出言語のない子どもには、教師が補助したり、紙に名前を書かせたりする。 ○ 簡単に作れるプレゼントを事前に準備しておく。 ○ 日ごろ、子どもたちが学習している歌やリズムをレクリエーションの出し物にする。	・いす ・プログラム板 ・名前カード ・プレゼント ・カセットレコーダー ・テープ	・生・役 Ⅱ-1 Ⅲ-2 ・音楽 Ⅱ-4		

主題例	教生先生とのお別れ会	月	9, 10	時間	各 1
目 標	○ 教生先生と一緒に歌ったり、踊ったりして楽しく過ごすとともに、お礼の言葉を言ったり、プレゼントをしたりして、教生先生への感謝の気持ちを持たせるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 会場の準備をする。 2. お別れ会をする。 会 順 (1) はじめのことば (2) 先生の話 (3) みんなで歌おう (4) お礼のことば (5) プレゼント (6) みんなで踊ろう (7) 教生先生の話 (8) 記念撮影 (9) おわりのことば 3. 後始末をする。	○ いすを運んだり、教生先生へのプレゼントを準備したりさせる。 ○ 司会者を中心にお別れ会を進めさせるが、表出言語のない子どもには、教師が補助したり、会順に沿って指差しさせたりする。 ○ 簡単に作れるプレゼントを事前に準備しておく。 ○ 日ごろ、子ども達が学習している歌や踊りをレクリエーションの出し物にする。 ○ 協力して後始末をさせる。	・いす ・プログラ ム板 ・カセット レコーダ ー ・テープ ・プレゼン ト	・生・役 Ⅱ－1 Ⅲ－2 ・生・交 Ⅲ－8 ・音楽 Ⅱ－4		

主題例	教生先生とのお別れ会をしよう	月	10	時間	1
目 標	○ 教師と一緒にプレゼントの内容や係(役割)を決めたりすることにより、教生先生とのお別れ会の計画を立てることができるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 教生先生とのお別れ会の期日について知る。 2. 昨年のお別れ会の8ミリ(VTR)を見る。 3. お別れ会の計画について話し合う。 (1) 出し物を決める。 (2) プレゼントを決める。 (3) 係(役割)を決める。 4. 出し物の準備をする。 5. プレゼントの準備をする。 ○ 輪かざり ○ プラホビーなど	○ 行事ごよみなどを使って、お別れ会の期日を知らせる。 ○ お別れ会の8ミリ(VTR)を見せ、どんなことをしたか、発表させる。 ○ 話し合いの内容を提示し、子どもの意見を十分に取り入れるようにする。 ○ 「司会」、「はじめ・おわりのことば」などの係を決めさせる。 ○ 身近な歌や踊り、自分たちで簡単に作れるプレゼントなどを準備させる。	・こよみ ・VTR ・8ミリ ・カセット テープ ・はさみ ・のり	・算数 Ⅲ－7 ・生・役 Ⅲ－1		

主題例	いもほり	月	11	時間	2
目標	○ 教師と一緒にいもを掘ったり、洗ったりすることを通して、自分たちで育てたいものを収穫することができるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. さつまいもを収穫することを 知る。 2. さつまいもを収穫する。 (1) 用具を準備する。 ○ バケツなど (2) いもを掘る。 ○ うね別 (3) 土を洗い落とす。 (4) 保管場所に運ぶ。 4. 用具の後始末をする。	○ 6月の苗植えの時の写真を提示し、収穫する意欲をもたせる。 ○ 一人にひとつうねずつ割り当てをし、できるだけ自力で掘らせるが、掘り出せない子どもには教師が補助する。 ○ いもを洗うために、布やたわしを準備しておく。 ○ いも洗いと運搬のグループに分け、全員に役割を分担する。 ○ 協力して用具の後始末をさせる。	・写真 ・バケツ ・移植ごて ・軍手 ・布 ・たわし ・かご	・基・自 Ⅱ-4 Ⅲ-2 ・基・手 Ⅲ-10		

主題例	教室の整理をしよう	月	3	時間	1
目標	○ 教師と一緒に、自分で使ったロッカーやかばんなどを掃除したり、掲示物はずしたりして、教室の整理ができるようにする。				
予想される主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 一年間使った教室の整理を することを 知る。 ○ 机、ロッカー ○ 手洗い場、掲示物 2. 教室の整理をする。 (1) 自分で使ったものを掃除する。 ○ かばん棚 ○ 机、ロッカーの名札はずし (2) みんなで使ったものを整理 する。 ○ 手洗い場 ○ 本棚 ○ 作業棚 など 3. 後始末をする。	○ 教室が整理されていると気持ちがよいことに気づかせる。 ○ 汚れているところや整理されていないところを見つけさせる。 ○ 個人ごとに、自分で使ったものをきれいに整理させる。 ○ 一人ひとり、又はグループごとにそうじ場所を分担して、みんなが使ったものを整理させる。	・雑布 ・ほうき ・ちり取り	・生・役 Ⅲ-3 4 ・生・手 Ⅲ-2		

中 学 部

主題例	自 分 の 係	月	4 , 9 , 1	時 間	各 1
目 標	○ 学級生活に必要な係を話し合い、仕事を分担することを通して学級の一員としての自覚を高めるとともに、進んで係活動に取り組みようとする態度を養う。				
	予 想 さ れ る 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
	1. 学級のいろいろな仕事について話し合う。 ○ まとめる係（学級委員長） ○ 仕事をする係（諸係） 2. 学級委員長を決める。 ○ 立候補、推せん ○ 選出 3. 諸係を決める。 ○ 決定のし方 ・ 抽選、希望 4. 活動の内容を確認する。 ○ 活動の実際 ○ 係活動確認板の使用	○ 今までの子どもたちの経験からどのような係が必要か気づかせる。 ○ 係活動に関連のある用具を提示し、話し合いの円滑化を図る。 ○ 決定に際しては、子どもたちの意見が十分取り入れられるように一人ひとりに確認させる。 ○ 子どもたちの希望を尊重するとともに、個々の能力や特性を十分考慮して配置されるようにする。 ○ 一人ひとり、実際に活動させ、仕事の内容を確認させる。	・花びん ・ラール ・温度計 ・天気板 ・カレンダー ・投票用紙 ・名まえカード ・係活動確認板	・基Ⅲ ・役－1 ・国Ⅲ－4 ・国Ⅳ－6 ・社Ⅳ－5	

主題例	小 運 動 会 の 係	月	5	時 間	1
目 標	○ 小運動会の係を決めることを通して、係の仕事への意識をもたせ、力を合わせて参加しようとする意欲を高める。				
	予 想 さ れ る 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
	1. 今までの小運動会のVTRや写真を見て、過去に経験した内容を話し合う。 2. 中学部割当の係名を聞き、係を決める。 3. 係の仕事について各自発表し、心がまえを話す。 4. 係の仕事を練習し、友だちの意見を聞く。	○ VTRの視聴では、中学部の種目や生徒の係活動の様子について注視させる。 ○ 係の決定については、子どもたちの希望を尊重するとともに、個々の能力や特性を十分考慮して行う。 ○ 友だちの係についても意識づけを図る。 ○ 係になった者については、学部の代表であることの意識づけを行い、繰り返し練習させる。	・VTR ・写 真 ・名まえカード	・基Ⅲ ・役－1 ・国Ⅲ－4 ・国Ⅳ－6	

主題例	児童生徒会役員立候補者選出	月	5 , 1 2	時間	各 1
目 標	○立候補者や応援演説者を選んだり、ポスターやたすきを作ったりする活動を通して、児童生徒会への関心を高めるとともに協力して代表を送り出そうとする態度を育てる。				
予想される学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 児童生徒会について話し合う。 ○ 児童生徒会役員 ○ 委員会活動	○ 全校朝会、週番活動、学級の係活動の様子と関連づけ、自分たちの会であることに気づかせる。	・画用紙 ・広巾用紙 ・マジック			
2. 児童生徒会役員立候補者の学級代表を決める。 (1) 立候補者を決める。 (2) 応援演説者を決める。	○ 代表者は、できるだけ生徒たちの意志で決められるよう助言が必要に応じて条件についても考えさせる。	・のり ・カッター	・基Ⅲ 役－1		
3. 立合演説会の練習をする。 ○ 立候補者 ○ 応援演説者	○ 個々の特性に応じた内容を与え生徒自身で演説可能なものを練習させる。		・国Ⅲ－4 ・国Ⅳ－6		
4. ポスターやたすきを作る。	○ 役割分担をして全員が協力して作業できるようにする。				

主題例	係 の 仕 事	月	5 , 1 1	時間	各 1
目 標	○学級成員の係活動の様子を見たり、実際に行ったりすることにより、正しい係活動のあり方を知り、円滑な活動がなされるようにする。				
予想される学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 学級の係活動の種類を発表する。	○ 係活動確認板を用いてもれがないかを確認させる。	・係活動確認板	・基Ⅲ 役－1		
2. 自分の係活動を発表する。	○ 一人ずつ前に出て発表させ、係の確認をさせる。		・国Ⅲ－4 ・国Ⅳ－6		
3. 係活動を行う。 ○ 自分の係活動を行う。 ○ 友だちの係活動の様子を見る。	○ 友だちの活動の様子をみて、気づいたことを自由に発表させ、反省への手だてとする。		・社Ⅳ－6		
4. 正しい係活動のあり方について友だちや先生と話し合う。 ○ 活動の時間 ○ 活動の内容 ○ 確認板の使用	○ 欠席した友だちの係活動の手伝い方についても触れ、友だち同士の連帯意識を深めさせる。		・社Ⅳ－8		

主題例	学級園の手入れ	月	6	, 10	時間	各 1
目 標	○学級園を手入れすることを通して、協力して作業することの大切さを知らせたり、草花への関心を高めたりする。					
予想される学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容			
1. 作業内容を知る。 ○ 除草, 耕起, 苗の移植 2. 用具や苗の準備をする。 3. 作業をする。 (1) 除草をする。 (2) 耕やす。 (3) 肥料をまく。 (4) 苗を移植する。 (5) 水をまく。 4. 作業の反省をする。 5. あとしまつをする。	○ 季節によって植える花の種類が変わることを図鑑や絵カードを利用して知らせる。 ○ 作業に入る前に、簡単な作業分担を行わせ、各自作業への意識化を図る。 ○ 移植する位置については、ひもや棒を補助具として使用させ、整然とした移植作業ができるようにする。 ○ 分担作業の反省を一人ずつ行わせるとともに、今後も継続して管理していくことを知らせる。	・図鑑 ・絵カード ・移植ごて ・くわ ・一輪車 ・ひも ・棒 ・肥料 ・花の名札	・基一Ⅲ 自一2 ・理Ⅳ-23 ・基一Ⅲ 役一4 ・職Ⅳ-13 ・基一Ⅲ 手一6			

主題例	雨の日の過ごし方	月	6	時間	1
目 標	○雨の日の正しい過ごし方や室内での遊びについて話し合わせ、室内ゲーム大会の計画を立てられるようにする。				
予想される学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 「雨だれ」の歌をうたう。 2. 梅雨時期の特徴について発表する。 ○ 雨, 湿気 など 3. 室内での過ごし方について話し合う。 ○ 遊び, ゲーム 4. 室内ゲーム大会の計画を立てる。 ○ 日 時 ○ 内 容 ○ 係分担 ○ 準 備 5. 先生の話聞く。	○ 雨の時期にふさわしい歌を用い本主題への意識づけを図る。 ○ 雨具や窓, 廊下の湿りを直接見せることにより特徴に気づかせる。 ○ 屋外用と室内用の遊具やゲーム器具を準備し, どちらが適切であるかを判断させる。 ○ 日時はあらかじめ設定しておくが, 内容については生徒の意見を十分とり入れる。 ○ 係分担や準備については, 生徒の意見を尊重し, 教師は助言を与える程度にする。	・かさ ・雨靴 ・雨衣 ・屋外用遊具, 器具 ・室内用遊具, 器具	・基一Ⅲ 遊一11 ・基一Ⅲ 遊一2		

主題例	室内ゲーム大会	月	6	時間	1
目標	○いろいろなゲームに参加することを通して、友だちとの親睦を深めるとともに、雨の日における室内での過ごし方を工夫させる。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 視聴覚室に集合する。	○ 進行係はゲームがしやすい位置に整列させる。		・基Ⅲ 決-4		
2. ゲーム大会をする。	○ ゲーム大会の運営は、できる限り生徒全体のものとなるよう指示や助言の与え方を工夫する。	・ゲーム用具、器具	・基Ⅲ 遊-4 5		
(1) 開会式をする。					
○ ゲームに関する諸注意					
○ ちかひのことば					
(2) ゲームをする。	○ 学級の連帯意識が高まるようにゲームの内容や時間によって対戦相手の組み合わせを工夫する。	・結果集計表	7 9		
(3) 閉会式をする。					
○ 結果の発表					
○ 表彰		・賞状			
3. あとしまつをする。	○ 全員で協力して行うよう呼びかけをさせる。				

主題例	○学期の反省	月	7, 12, 3	時間	各1
目標	○○学期の係活動の反省や教室の整理を通して、具体的に改善点に気づかせ、協力して学級内の仕事ができるようにさせる。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 自分の学級の係名を発表する。	○ 道具やカード等を使って発表させる。	・係活動確認板	・基Ⅲ 役-1		
2. 係の仕事の反省をする。	○ ことばで表現できない生徒については、実際の活動を行わせることによりお互いに問題点を指摘させる。		・国Ⅲ-4 ・国Ⅳ-6		
(1) 一人ずつ発表する。					
(2) 友だちの発表を聞き意見や感想を言う。					
○ 良かったところ					
○ 悪かったところ					
3. 反省にもとづいて、自分の係の仕事を行う。	○ 反省が生かされるように適宜指示や補助を与える。		・社Ⅳ-6		
4. 教室の整理をする。	○ 子どもたち自身に役割分担を行わせ、積極的な活動を促す。	・作業用具	・社Ⅳ-8		
○ 掲示物、展示物					
○ 窓やロッカーの清掃					

主題例	教生先生の歓迎会	月	9 , 10	時間	各1
目標	○ 歓迎会の計画、実践を通して、学部生徒間の連帯意識を深めるとともに、教生先生と仲よく、楽しく接していこうとする心がまえをつくる。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 歓迎会の準備をする。 2. 歓迎会をする。 会順 (1) はじめのことば (2) 教生先生の自己紹介 (3) 歓迎のことば (4) 生徒の自己紹介 (5) レクリエーション ○ 中学部の歌 ○ 学級の出し物 (6) 先生の話 (7) おわりのことば 3. あとかたづけをする。	○ 教生先生を拍手で迎えさせる。 ○ 係分担は、生徒の希望や意見が十分取り入れられるようにする。 ○ 会の進行は系の生徒を中心に行わせ、教師は会の進行状況に応じて指示や助言をする。 ○ 自己紹介で言語のはっきりしないものについては、学級委員長を中心に同クラスの友だちが手助けするようにさせる。 ○ 全員で協力し合ってあとかたづけができるようにする。	・カセット ・カセット テープ	・基Ⅲ 役-1 ・基Ⅲ 交-2 ・音Ⅱ-14 ・社Ⅳ-6		

主題例	教生先生とのお別れ会	月	9 , 10	時間	各1
目標	○ 教生先生との別れを惜しみ、お世話になったことへの感謝の気持ちをもってお別れ会をすることができるようにさせる。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. お別れ会の準備をする。 ・ 板書、席座づくり 2. お別れ会をする。 会順 (1) はじめのことば (2) 教生先生を送ることば (3) 教生先生お別れのことば (4) レクリエーション ○ 生徒の部 ○ 教生先生の部 (5) 別れの歌 (6) おわりのことば 3. あとかたづけをする。	○ 事前に板書係や会場係を決め、準備がスムーズに行われるようにする。 ○ 送ることばは、学級ごとに代表を決め、できるだけ多くの生徒に経験の場が与えられるようにする。 ○ レクリエーションについては、教生先生にも事前をお願いしておく。 ○ 教生先生が退場する際は、2人組でアーチをつくり送るようにさせる。	・カセット ・カセット テープ	・基Ⅲ 役-1 ・音Ⅱ-14 ・社Ⅳ-6		

主題例	スポーツ大会	月	11	時間	1
目標	○ スポーツレクリエーション活動を通して、運動をすることの楽しさを味わうとともに、お互いの親睦感をさらに深める。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. グラウンドに集合する。 ○ 学級ごとに整列 2. 準備運動をする。 3. 競技をする。 ○ 学級対抗 ○ グループ対抗 ○ 生徒対先生 ○ 全体レクリエーション 4. 整理運動をする。 5. 競技の結果を発表する。 ○ 各賞の発表 ○ 先生の話 6. あとしまつをする。	○ 競技の内容の決定と用具の準備については、できるだけ生徒同士協力して行わせる。 ○ 競技内容によって、いろいろなグループ編成を行い、全員が楽しく参加できるよう配慮する。 ○ いろいろな賞を与えることにより参加への喜びを味わわせる。 ○ 全員で協力して行わせる。	 ・各種運動用具 ・賞状	・体Ⅲ－1 ・基Ⅲ 手－2		

主題例	正月の遊び	月	1	時間	1
目標	○ 新しい年をお互い元気で迎えられたことを喜び合うとともに、正月の遊びをみんなで楽しめるようにする。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 正月に関係あるいろいろな遊びの種類を発表する。 ○ すごろくゲーム ○ かるたあそび、こままわし ○ たこあげ、はねつき ○ 福笑いなど 2. 各々、持ち寄った遊具を各自準備する。 3. ゲーム大会をする。 ○ 学級チャンピオンの決定 ○ 表彰 4. あとしまつをする。	○ 実際に準備した遊具を提示し、生徒の遊びへの関心を高める。 ○ 遊び方を知らない生徒へは、実際、示範してみせる。 ○ 生徒に各自、遊具の紹介をさせる。 ○ ゲームへの意欲づけを図るために、賞品や賞状を準備する。 ○ 学級全員で協力して行わせる。	 ・すごろく ・かるた ・こま ・たこ ・はご板 ・はね ・賞品 ・賞状	・国Ⅲ－4 ・基－Ⅲ 遊－1 4. 5 7. 9 12		

主題例	卒業記念品づくり	月	2	時間	3
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業記念品について話し合い、みんなで協力して作り上げることにより中学部の思い出やお互いの友情を深めさせる。 ○ 卒業生への記念品づくりを通して先輩への感謝の気持ちを持たせるとともに、在校生としての自覚をもたせる。 				
予想される学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1 作品について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業生は、中学部に卒業記念品として残るもの ○ 在校生は、卒業生一人ひとりに記念品としてあげられるもの 2 卒業記念品づくりをする。 <p>(1) 材料や用具を準備する。</p> <p>(2) 作業分担をして作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業生グループ ○ 在校生グループ 3 できあがった作品をみる。 4 あとしまつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品を生徒の側で決めかねるときは、教師の側であらかじめ製作したものを提示し、決めさせる。 ○ 生徒の実態や製作時間を考慮し無理のないものにする。 ○ グループ編成については、作業の内容や作品数を考慮して教師の側で適切に行う。 ○ できあがった作品には、自分たちの名前を入れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・基Ⅲ 役－1 ・国Ⅲ－4 ・国Ⅳ－6 ・美Ⅲ－6 7 10 ・社Ⅳ－6 ・基Ⅰ 手－8 		

主題例	学級お別れ会	月	3	時間	1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業や進級を控えて、お互いのこれまでの友情をたたえ合いながら、学級最後のレクリエーション活動に楽しく参加できるようにする。 				
予想される学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1 お別れ会の準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 板書，座席配置 2 お別れ会をする。 <p>会順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめのことば 2 うた（全員合唱） 3 1年間の思い出 4 レクリエーション <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人別の出し物 ○ 全員での歌，リズム 5 先生の話 6 おわりのことば 3 あとかたづけをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最後の学級会であることを知らせ全員が積極的に取り組むようにさせる。 ○ 係分担やレクリエーションについては、学級委員長を中心に事前に話し合わせておく。 ○ 言語のない生徒については、友だちや教師と一緒に行わせる。 ○ 会の進行度合をみて会食などの内容も盛り込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カセット ・カセットテープ 	<ul style="list-style-type: none"> ・基Ⅰ 役－1 ・基Ⅲ 役－1 ・音Ⅰ－14 		

高等部

主題例	一日遠足の計画調べ	月	4, 11, 3	時間	各1
目標	○ 一日遠足の計画を調べたり、必要なことを話し合っただけたりして、遠足への見通しをもたせ、楽しく参加しようとする態度を育てる。				
予想される学習活動・内容		留意点		準備	関連内容
1. 一日遠足の計画を調べる。 ○ 目的地 ○ 集合場所 ○ 日程 ○ 持ち物 ○ 服装 2. 約束や決まりを話し合う。 ○ 歩くとき ○ バスの中 3. レクリエーションについて話し合う。 (1) 出し物を決める。 ○ 全体 ○ グループ ○ 自己紹介 (2) 練習をする。		○ 計画の概要はプリントしておく。 ○ 目的地や日程など大切なことはカードや短冊黒板等を書いて提示しやすくしておく。 ○ 司会は委員長にさせる。 ○ 教師は話し合いの進め方、方法等についての助言程度にとどめ生徒の発言や結果を尊重する。 ○ 出し物は短時間で練習できる簡単なものを決めさせる。 ○ 練習に必要な道具を準備させる。		・計画書 ・プリント ・短冊黒板 ・カセットテープ ・歌詞	・国Ⅲ-1 Ⅲ-4 ・数Ⅳ-7 ・社Ⅴ-5 ・国Ⅴ-6 ・音Ⅳ-8

主題例	小運動会	月	5	時間	1
目標	○ 必要な係や約束などを決める活動を通して、協力して積極的に参加しようとする態度を養う。				
予想される学習活動・内容		留意点		準備	関連内容
1. 昨年のVTRを見る。 2. 小運動会について知る。 ○ 日程・内容 ○ 係 ○ 約束 3. 係や約束について話し合う。 (1) 係を選ぶ。 ○ 審判係 ○ 用具係 ○ 放送係 ○ 応援団など (2) 約束を決める。 ○ 集合の仕方 ○ 応援の態度		○ 学部全体での活動とする。 ○ 昨年経験した係について発表させ、いろいろな係が必要なことに気づかせる。 ○ 係や応援団は学年ごとに人数を割り当てさせる。 ○ 1人ひとりの能力や特性に合った係を決めさせる。		・VTR ・小運動会の日程表 ・応援団旗	・国Ⅳ-2 ・国Ⅲ-1 ・数Ⅳ-7 ・国Ⅴ-6 ・社Ⅴ-5

主題例	児童生徒会役員選出	月	5, 12	時間	各1
目標	○児童生徒会のしくみや仕事について話し合ったり、立候補者や応援演説者を選んだりする活動を通して、学級の代表を送りだそうとする意識をもたせる。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 選挙管理委員からの報告を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒会役員改選の目的 ○ 改選の方法と日程 2. 児童生徒会について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒会のしくみ ○ 役員の仕事内容 3. 議題を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 立候補者を選ぶ。 (2) 応援演説者を選ぶ。 4. 準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ たすき ○ ポスター 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議長は学級委員長にさせる。 ○ 適宜、補足説明をくわえる。 ○ 方法や日程等は板書させる。 ○ 組織図を提示したり、役員の経験のある者に仕事内容を発表させたりする。 ○ 話し合いが滞ったときには、適宜、助言する。 ○ 学級の代表としてふさわしい人物を選ばせる。 ○ 時間が不足した場合は、昼休み等を利用して準備させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒会組織図 ・白用紙 ・はさみ ・のりなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・国Ⅲ-1 IV-7 ・数Ⅳ-7 ・国Ⅴ-6 ・美Ⅳ-6 ・国Ⅲ-17 		

主題例	新しい学級組織	月	9, 1	時間	各1
目標	○学級の組織を決める活動を通して、学級にはいろいろな係が必要なことをわからせ、学級の一員として協力しようとする態度を養う。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 学級組織について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級委員長の選出 ○ 係の決定 2. 議題を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 学級委員長を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 立候補 ○ 選挙 (2) 係を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 花係 ○ 保健係 ○ 電気係など 3. 係活動をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前学期の組織図を提示して、学級の運営にはいろいろな仕事が必要なことに気づかせる。 ○ 学級委員長の仕事内容を発表させ、委員長としてふさわしい人物を選ばせる。 ○ できるだけ前学期と同じ係にならないよう助言する。 ○ 組織表に係名を記入させる。 ○ 実際に活動させることで、使用する用具やその使い方などについてわからせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級組織図 ・組織表 ・用具類 	<ul style="list-style-type: none"> ・国Ⅴ-6 ・社Ⅳ-5 ・社Ⅴ-11 ・社Ⅴ-6 		

主題例	教生先生の歓迎会	月	9. 10	時間	各1
目 標	○教生先生を迎え、自己紹介やレクリエーションを通して、楽しくなごやかな雰囲気を楽しむ。お互いの親交を深める。				
予想される学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 準備をする。 2. 歓迎会をする。 会 順 (1) はじめのことば (2) 先生の話 (3) 歓迎のことば (4) 教生先生の自己紹介 (5) 生徒の自己紹介 (6) レクリエーション ○ 各学級の出し物 ○ 全員の出し物 (7) おわりのことば 3. 後始末をする。	○ 学部全体での活動とし、各係は朝の会や帰りの会などで事前に話し合わせ決めさせておく。 ○ 歓迎のことばは、各学級の委員長の中から代表を決めさせておく。 ○ 自己紹介は、生徒によっては美術などでかいた似顔絵を使わせる。 ○ 出し物は音楽などで学習したところの中から、簡単にできるものを決めさせる。 ○ 全員で協力してさせる。	・プログラム ・似顔絵 ・カセットレコーダ ・テープ ・歌詞など	・社Ⅴ-6 ・国Ⅲ-4 Ⅲ-7 Ⅳ-8 ・音Ⅱ-14 Ⅲ-8 Ⅴ-9		

主題例	教生先生とのお別れ会	月	9. 10	時間	各1
目 標	○教生先生とのお別れ会を通して、みんなで楽しく活動する喜びを味わわせるとともに、お世話になったことへの感謝の気持ちをもたせる。				
予想される学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 準備をする。 2. お別れ会をする。 会 順 (1) はじめのことば (2) 先生の話 (3) 生徒代表のことば (4) 会食 (5) レクリエーション ○ 学級、教生先生の出し物 (6) 実習のことば (7) プレゼント (8) おわりのことば 3. 後始末をする。	○ 学部全体での活動とする。 ○ 昼休み等を利用して、事前に会順や係分担などを話し合わせ、準備させておく。 ○ 会食は簡単なものとする。 ○ 出し物は朝の会や帰りの会などで練習させておく。 ○ 教生先生には出し物を用意しておくよう事前に連絡させておく。 ○ プレゼントは手紙や似顔絵などの簡単なものを用意させておく。 ○ 全員で協力してさせる。	・プログラム ・カセットレコーダ ・テープ ・歌詞など ・プレゼン	・社Ⅴ-6 ・国Ⅲ-4 Ⅲ-7 Ⅲ-8 ・音Ⅱ-14 Ⅲ-8 Ⅴ-9		

主題例	映画鑑賞会	月	2	時間	2
目標	○ 映画鑑賞会の計画立案や準備、後始末などを通して、自分たちでできることは自分たちの手で行うとする態度を養う。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 映画鑑賞会の計画を話し合う。 (1) 期日を知る。 (2) みたい映画を決める。 (3) 準備・後始末係を選ぶ。 (4) 約束を決める。 2. 鑑賞会を開く。 (1) 準備をする。 (2) 鑑賞する。 (3) 後始末をする。	○ 学部全体での活動とする。 ○ 期日は次週の学級会の時間をあてる。 ○ 用意できる映画をプリントしておき、その中から選ばせる。 ○ 各学年ごとに人数を割り当てさせる。 ○ 鑑賞時に守らなければならないことに気づかせる。 ○ 会場の準備や後始末は生徒たちの手できせる。 ○ 印象に残った場面や感想などを発表させる。	・プリント ・映写機 ・フィルム	・国Ⅴ－6 ・社Ⅴ－5 Ⅴ－6 ・国Ⅳ－1		

主題例	学習発表会	月	2	時間	2
目標	○ 出し物を決めたり役割を分担する活動を通して、みんなで協力して思い出に残る発表会にしようとする態度を養う。				
予想される学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 昨年のVTRを見る。 2. 学習発表会について知る。 ○ 期日・日程・内容 ○ 出し物 ○ 係 3. 出し物や係を話し合う。 (1) 出し物を決める。 ○ 劇 ○ 歌 ○ 合奏 (2) 係を決める。 ○ 当日の係 ○ 小道具係 4. 小道具を作る。 (1) 分担をする。 (2) 分担の仕事をする。	○ 学部全体での活動とする。 ○ 昨年の出し物や役割について思い出させる。 ○ 期日・日程などはプリントしておく。 ○ 出し物はこれまでに学習したことの中から選ばせる。 ○ 1人ひとりの能力や特性に応じた役割分担ができるよう、適宜助言する。 ○ お互いに協力して作らせる。	・VTR ・計画書 ・プリント ・はさみ ・のり ・絵の具など	・国Ⅲ－1 ・数Ⅳ－7 Ⅴ－6 ・美Ⅲ－8 Ⅲ－9 ・社Ⅴ－6		

主題例	年間の反省	月	3	時間	1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 一年間の活動の反省を通して、やり遂げた喜びを味わわせるとともに、次年度への意欲をもたせる。 				
予想される学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 一年間の活動を思い出す。 <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの仕方 集会のもち方 係の仕事 2. 反省をする。 <ul style="list-style-type: none"> 司会の仕方 発表の仕方 係の仕事の様子 3. 次年度への抱負を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> がんばりたいこと 気をつけること。 	<ul style="list-style-type: none"> VTRや写真、行事ごよみなどを提示して、どんな活動があったか思い出させる。 具体的な場面を提示して、よかった点や悪かった点についてお互いに話し合わせる。 本年度の学級会の反省をもとにして、次年度にがんばりたいことや気をつけたいことなどをまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> VTR 写真 行事ごよみ 	国Ⅲ-1 Ⅳ-4	国Ⅴ-6 国Ⅳ-6	

クラブ活動

1. 基本的な考え方

クラブ活動は、学級・学年の枠を越えた同好の児童生徒により集団を組織し、共通の興味・関心を追求する活動を自発的に行わせ、自主性・社会性を養うとともに個性の伸長を図るものである。

本校の児童生徒は、日常の様々な活動に興味・関心を示すが、活動自体は他律的で、なかなか他の児童生徒とうまくかかわっていけないことが多い。しかし、時には、上級生が下級生の世話をしている場面や、活動に積極的にかかわっていかうとする様子を見うけることもある。

そこで本校では、クラブ活動を活動経験を増やす場としてとらえ、実践していくなかで興味・関心を育てるとともに、長所や特性を伸ばしたり、適性を発見したりする。また、児童生徒同士でかかわりを持てると考えられる小学部高学年から高等部までの幅広い年齢集団を組織し、楽しく活動させることを通して、仲間意識や対人関係のあり方を身につけさせる。そして、活動内容に児童生徒の発想や日ごろ興味・関心を示していることを取り入れていくことで、進んで活動に参加しようとする態度を培う。さらに、このような経験を通して情緒の安定を図るとともに、休み時間等の余暇を積極的に活用していかうとする態度をも育てていくこととする。

2. 目 標

- 一つの活動をくり返し経験させたり、様々な活動を経験させたりなどすることを通して、興味・関心を育てるとともに、進んで参加しようとする態度を培う。
- 児童生徒が主体となる活動を多く取り入れることを通して、異年齢集団における望ましい人間関係を育てる。

3. 組織・運営

- 児童生徒の日常の様子や希望等によりクラブを組織・編成する。（昭和60年度の例では、下表のようになった。）

クラブ名	ページ	活 動 場 所	編成学部	配当人数	教官数
のりものク ラ ブ	451	校庭 中・高玄関前	小一中一高	7	3
運 動 ク ラ ブ	452	校庭 体育館	小一中一高	6	3
ゲ ー ム ク ラ ブ	453	プレイルーム	小一中一高	7	3
音 楽 ク ラ ブ	454	音 楽 室	小一中一高	6	2
読 書 ク ラ ブ	455	視聴覚・図書室	中一高	4	2
家 庭 ク ラ ブ	456	被服・調理室	小一中一高	6	3
窯 業 ク ラ ブ	457	窯 業 室	中一高	5	2
園 芸 ク ラ ブ	458	実習園 ピロティ	高	4	2

- 毎週水曜日の5校時をクラブの時間とする。（ただし、第4週は省く）
- 学年度初めの第1週を加入指導の時間とし、学級ごとに行う。

- 学年度初めの第2週をクラブ編成の時間とし、児童生徒をクラブごとに配当する。

4. 配慮事項

- クラブを組織・編成するにあたっては、児童生徒の日常の様子をよく観察し、希望なども充分考慮して行う。
- 各クラブの集団は、小学部高学年から高等部までを基本とするが、クラブの特質を考慮して、小一中、中一高で編成することもある。
- 活動内容を設定するにあたっては、全員が共に活動できるものであることを基本とし、生徒の意見なども取り入れて行う。
- 活動を実践させるにあたっては、発達段階を踏えながら内容を弾力的に取り扱っていく。
- クラブを運営するにあたっては、原則として児童生徒の手に委ね、指導者は補助や助言を与える程度とする。
- クラブへの加入指導は、学級ごとに行い、児童生徒の特性や希望が充分生かされるようにする。
- 児童生徒の所属クラブは、一学期の様子を見て二学期当初に変更することもある。

5. クラブ編成の活動例

時間	予想される活動内容	留意点	準備
第 一 週	1. 各クラブの昨年度の活動内容を知る。 ○ クラブ名 ○ 活動内容など 2. 昨年度所属したクラブを発表する。 ○ クラブ名 ○ 楽しかった活動内容 3. 希望するクラブを発表する。 ○ 第一希望 ○ 第二希望	○ 各クラブの昨年度の活動をVTRに映しておき、校内放送を利用して一せいに放映する。 ○ 昨年度の活動で一番印象に深かったことを発表させる。 ○ クラブ紹介ビデオや友だちの話などから、希望するクラブを二つ決めさせる。	・クラブ紹介ビデオ ・クラブ名カード ・希望調査表
第 二 週	4. クラブ編成をする。 ○ 各クラブのメンバーの発表 ○ 指導者の発表 5. クラブごとのオリエンテーションをする。 ○ 自己紹介 ○ 部長・副部長の選出 ○ 活動計画の作成	○ できるだけ三学部にまたがった人員で編成する。 ○ できるだけ第一希望を生かした編成をする。 ○ 学部・名まえ・好きな活動内容を発表させる。 ○ 昨年度の記録や、自己紹介等で発表された内容を基にして計画を立てさせる。	・クラブ編成表 ・昨年度の活動記録簿 ・今年度の活動記録簿

クラブ活動内容例

クラブ名	のりものクラブ		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車や三輪車などに乗ることを通して、乗りものに対する関心を高め、安全な乗り方ができるようにする。 ○ 友だちと協力して乗りものの手入れや整理整とんなどをする活動を通して、物を大事に扱う態度を育てる。 		
月	予想される活動内容	留 意 点	準 備
5 月 3	1. のりものに乗る。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 乗り方 ○ 降り方 ○ ブレーキのかけ方 ○ やくそく 2. グループ別に乗る。 (自転車グループ) <ul style="list-style-type: none"> ○ 左側通行 ○ 合図のしかた ○ 停止位置(カーブの手前) ○ 車間距離 (三輪車グループ) <ul style="list-style-type: none"> ○ 左側通行 ○ 合図のしかた ○ 停止位置 3. のりものの手入れをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ そうじ(ふく, 油さし) ○ 空気入れ ○ 点検 4. 競技会をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 得意とするもの ○ コース別 ○ 乗り方 ○ のりものの整理整とん ○ のりものの手入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 好きなのりものに自由にさせて活動への意欲を高める。 ○ いろいろなのりものを多く経験させながら基本的な技能, ルールを理解させる。 ○ 子どもの実態に合わせてグループ編成するが低い子どもも補助輪つきの自転車等に乘せるなどして技能を高めていく。 ○ 体格に合う自転車を使用させ, 安全面に十分注意させる。 ○ アコーレーサー等ののりものも使用させ, 簡単なきまりを守らせる。 ○ 主として雨天時の活動として位置づけ, 役割分担等により協力して行えるように配慮する。 ○ 各学期末に全体, グループ別に行う。 ○ コース別に条件を与え, 安全な乗り方について技能, 態度面から評価する。 ○ 整理整とん, 手入れについては全員で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車 ・三輪車 ・アコーレーサー ・スクーター ・布ざれ ・油 ・空気入れ ・石灰 ・チョーク ・旗 ・布ざれ ・油 ・空気入れ

クラブ名	運 動 ク ラ ブ		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味・関心に基づいた様々な運動を経験させるなかで楽しさを味わわせ、運動に親しもうとする態度を養う。 ○ 励まし合ったりチームを組んだりするなどの活動を通して、学部を越えた異年齢集団へ積極的にかかわれるようにする。 		
月	予想される活動内容	留 意 点	準 備
5 6 7 9	1. 鬼ごっこをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ チーム対抗 <ul style="list-style-type: none"> ・ 二人組 ・ 三人組など ○ 目かくし鬼 ○ 手つなぎ鬼 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> </div> ○ ハンディキャップ走 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小一中 ・ 中一高など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ お互いにしっかりと手をつながせ、思い切り走り回らせる。 ○ 逃げる児童生徒には鈴を持たせ、範囲を決めてその中で行わせる。 ○ 鬼と逃げる班に分け、鬼の班は全員手をつながせサークルの中心に一方を固定して追いかけさせる。 ○ 走力に応じてハンディキャップを与えトラックを追いかけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハチマキ ・ 鈴 ・ タオル ・ 支柱
10	2. 砂山づくりをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 砂運び <ul style="list-style-type: none"> ・ 二人組 ・ バケツリレーなど ○ トネル・溝作り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異なる学部の児童生徒で班を編成し、協力して砂を運ばせたり、砂山を作らせたりする。 ○ どの班が上手にできたか完成したものにボールを通してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バケツ ・ スコップ ・ 移植ごて ・ ボール
11 1	3. 風せんバドミントンをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 羽つき競争 ○ 試合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人選 ・ グループ対抗 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 床に風せんが落ちないように連続して打たせ、コースを回らせる。 ○ 打つ回数は規定せず、床に落ちた時点で得点を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風せん ・ ラケット ・ 三角ボール ・ ネット ・ 支柱
2 3	4. ミニサッカーをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ ボール蹴り競争 <ul style="list-style-type: none"> ・ 二人組 ・ 三人組など ○ 対人パス <ul style="list-style-type: none"> ・ 二人組 ・ 三人組など ○ 試合 <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴムボールサッカー 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループに分け、コースを設定して競争させる。 ○ 強く蹴ることよりも、相手に正確にパスすることに留意させる。 ○ 強いボールがいかないようにゴムボールを使用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角ボール ・ サッカーボール ・ ゴムボール ・ ゴール

クラブ名	ゲームクラブ		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々なゲームを通して、遊ぶことの楽しさを味わわせ、すすんでゲームに参加しようとする態度を養う。 ○ チーム対抗や全員で一緒に踊るなどの活動を通して、他学部の児童生徒同士で楽しく活動できるようにする。 		
月	予想される活動内容	留 意 点	準 備
5 10 3	1. ダンスをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 握手でこんにちわ ○ なかよしこみち ○ チェッコリ ○ スプーンおばさん ○ 南の島のハメハメハ大王 他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師と一緒に踊ったり、ポンポンを持たせたりなどして楽しい雰囲気を作り、積極的に活動へ参加できるようにする。 ○ 他学部との交流を計るためグループを組む時は、なるべく学部の異なる児童・生徒同士を組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カセット ・テープ ・ポンポン
6 11	2. ボール遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ ボーリング ○ ころがしドッジボール ○ ピンポン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 得点表などを用いて、自分の成績をわかりやすくさせる。 ○ ボールを2個使ったり、コートを円や四角にしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング ・ボール ・ピンポン ・得点表
7	3. 水遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ さかなつり ○ ふね遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 能力に応じて、つりざおの長さを調節する。 ○ 1対1やグループ対抗で競争させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つり具 ・たらい ・舟
9 3	4. リレーをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 車押し ○ ボール運び ○ スクーターボード 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2つのグループに分けて競争させ、必要に応じて教師が補助する。 ○ ハードルやとび箱などの障害物を用いることによって、コースに変化をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車 ・ボール ・スクーターボード ・バトン
12 1 2	5. 正月の遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ かるたとり ○ すごろく ○ たこあげ ○ トランプ ○ わらべ歌遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループ分けをすることによって、能力に応じたかるたを使わせる。 ○ 簡単なたこづくりから始め、自分の力で遊具を作る喜びを味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かるた ・すごろく ・ビニール ・はさみ ・竹 ・トランプ

クラブ名	音 楽 ク ラ ブ		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味・関心に基づいた様々な音楽的活動を経験させる中で、楽しさを味わわせ、音楽に親しもうとする態度を養う。 ○ 異年齢集団において、児童・生徒にそれぞれの創意工夫を行わせ運営していく中で、自主的な活動への基盤を作る。 		
月	予想される活動内容	留 意 点	準 備
5	1. 音楽に親しむ。 (1) 音楽の時間に習う歌を聴く。 (2) 良く知っている歌謡曲を聴く。 (3) 自由に踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の側で、教材に用いる曲や子どもたちになじみのある曲の入ったレコードを準備して、自由に身体表現をしたり、歌ったりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レコード ・テープ ・ピアノ
6 5 7	2. 夏の曲に親しむ。 (1) 夏の曲を歌ったり踊ったりする。 (2) 自分たちの好きな曲を聴いたり踊ったりする。 (3) 流行の歌手の歌や演奏を見る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の側で準備する。 ○ 子どもたちそれぞれに好きな曲のレコードやテープを持ち寄らせる。 ○ あらかじめ教師がVTRで録っておいた歌謡番組のテープを、大画面のVTRに映して見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レコード ・テープ ・VTR
9 5 11	3. 秋の曲に親しむ。 (1) 秋の曲を歌ったり踊ったりする。 (2) 自分たちの好きな曲を聴いたり踊ったりする。 (3) 流行の歌手の歌や演奏を見る。 (4) 名曲に親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6～7月の配慮事項と同じ。 ○ 芸術の秋にふさわしい静かな古典音楽に触れさせ、鑑賞させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レコード ・VTR
12 5 2	4. 冬の曲に親しむ。 (1) 冬の曲を歌ったり踊ったりする。 (2) 自分たちの好きな曲を聴いたり踊ったりする。 (3) 流行の歌手の歌や演奏を見る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6～7月の配慮事項と同じ。 	
8	5. 春の曲、別れの曲に親しむ。 (1) 春や別れの曲を歌う。 (2) 1年間の思い出の曲を聴く。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の曲に親しませるとともに、3月が1年の終りの月であることを知らせ、別れの曲に親しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ ・レコード

クラブ名	読書クラブ		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本や紙しばい等を見たり読んだりすることを通して、図書に親しませ、進んで読書しようとする態度を培う。 ○ 異年齢による集団の中で、教え合ったり助け合ったりしながら、読書する活動を通して一人ひとりの個性を認め合い、お互いの人間関係を高める。 		
月	予想される活動内容	留意点	準備
5 月 3	<p>1. 自分の好きな図書を自由に読書する。</p> <p>(1) 本を自由にさがす。</p> <p>(2) 本を決める。</p> <p>(3) 読書をする。</p> <p>(4) 感想を発表しあう。</p> <p>2. 本を読んだり、紙しばいを見たりする。</p> <p>(1) 読書をする。</p> <p>(2) 紙しばいを見る。</p> <p>(3) 感想を発表しあう。</p> <p>3. 課題図書を決め、読書する。</p> <p>(1) 課題図書をきめる。</p> <p>(2) 読書をする。</p> <p>4. 年間の反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの読書に関する実態を把握し、適切な課題を設定する。 ○ 文字を読めない子どもに対しての図書設定や読書方法については多くの助言を与え、読書力の高い子どもを生かしながら低い子どもへの関わりをもたせる。 ○ 一人ひとりの子どもの好きなジャンルを中心とした読書をさせる。 ○ 紙しばいの語り手に文字の読める子どもを設定し、楽しいふんいきづくりで読書できるようつとめる。 ○ つとめて一冊の本を読み終わることをめざした読書をさせる。 ○ 楽しかったことやお友だちになったこと等を中心に反省させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙しばい ・O.H.P ・T.P

クラブ名	家庭クラブ		
目 標	<p>○ 身近にある材料を生かして作るおやつ作りや小物作りなどの活動を通して、作る楽しさや成就する喜びを味わわせるとともに、準備、製作、後始末などを互いに協力し合って積極的に参加する態度を養う。</p>		
月	予想される活動内容	留 意 点	準 備
5	1 おやつを作る。 ○ かんてん洋かん作り ○ ゆでたまご作り	○ 楽しい雰囲気での学習できるように、興味・関心をもつおやつ作りを題材Ⅰに配列する。 ○ 一単位時間で後始末までできるように、グループ編成表や手順表を準備しておく。	・かんてん ・砂糖 ・調理用具 ・手順表 ・卵・型抜き ・小麦粉
6	○ ドーナツ作り	○ グループ別にドーナツの形を考えさせ、工夫する喜びを味わわす。	・ドーナツの型・油
7	2 フェルト布を使った小物を作る。 ○ ティッシュ入れ ○ 針さし ○ 小物のぬいぐるみ など	○ 自分で作った物を日常の生活に利用させたり、部屋に飾るなどして、作った喜びを味わわせる。 ○ 異年齢集団の学習であるので、一人ひとりの実態に応じて取り扱う。	・裁縫用具 ・フェルト布 ・フランス刺しゅう糸 ・型紙 ・ボタン
10	3 だんごを作る。 (1) くしだんごを作る (2) お茶の入れ方・飲み方を練習する。	○ 個々の能力を配慮して、役割を決め、流れ作業で取り組ませる。 ○ お茶の飲み方は、お茶のすすめ方までマナーを含めて取り扱う。	・くし ・白玉粉 ・調理用具 ・茶器一式
11	4 モールを使った小物を作る。 ○ 花 ○ 動物 ○ 手まりなど	○ モールを使った花作りから、モールの曲げ方、色とりどりのモールの組み合わせ方などを導く。 ○ 小学部から高等部までの集団であるので、実態や能力に応じて2～3グループを編成し、無理のない作品作りに取り組ませる。 ○ 全員の作品を展示し、工夫した点などを発表し合って、成就した喜びをみんなで分かち合う。	・モール ・はさみ ・発泡スチロール ・まち針 ・ボンド ・毛糸・ビニールマット ・かぎ針 ・毛糸針
8	5 毛糸を使った小物を作る。 ○ 壁かけ ○ 花びん敷き ○ ティッシュ入れなど		

クラブ名	窯業クラブ		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな形や用途の陶器を思いのままにつくを通して、窯業にかかわる経験を養ったり、作品づくりへの喜びを味わったりする。 ○ 学部を越えた異年齢の友だちが、ともに活動することを通して、教えあったり、助けあったりして、仲間としてのきずなを深める。 		
月	予想される活動内容	留 意 点	準 備
5	1. 板づくりによる作品をつくる。 (1) 粘土をこねる。 (2) 粘土の板をつくる。 (3) 型枠の大きさに粘土を切る。 (4) 成形をする。 (5) 乾燥させる。 (6) 釉がけする。 (7) 作品を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最初は小皿など容易に取り組めるものからはじめ、しだいに湯飲み茶わんやコーヒーカップなどにも取り組ませるようにする。 ○ かま出し以外は焼成にかかわる活動はせず、説明のみにとどめる。 ○ かま出しは各自の手で行わせ完成の喜びを直接味わわせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土 ・粘土板 ・型板 ・どべ ・たたら板 ・釉薬
9	2. ひもづくりによる作品をつくる。 (1) 粘土をこねる。 (2) 粘土のひもをつくる。 (3) 成形をする。 (4) 乾燥させる。 (5) 釉がけする。 (6) 作品を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土のひもを同じ太さにする練習も取り入れ感触をつかめるようにする。 ○ 準備や後始末を全員ですすめたり、成形の中で教え合える場を設定したりして仲間としてのきずなを深めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土 ・粘土板 ・どべ ・釉薬
1	3. 大きな作品をつくる。 (1) 粘土をこねる。 (2) 粘土の板や粘土のひもをつくる。 (3) 成形をする。 (4) 乾燥させる。 (5) 釉がけする。 (6) 作品を鑑賞する。 (7) 作品の整理をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一、二学期の経験をもとに、各自の希望を生かしながら、大皿や花びんなどの作品づくりに取り組ませる。 ○ 自分たちの作品を実際使ってみたり、作品展示をしたりして、完成の喜びをともに味わえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土 ・粘土板 ・型板 ・どべ ・たたら板 ・釉薬
3	4. 作品展に出品する。 (1) ラベルや名札を準備する。 (2) 展示をする。 (3) 後始末をする。		

クラブ名	園芸クラブ		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 草花の育苗から開花までの栽培を通して、土にふれ、緑を愛し、環境をたいせつにする美しい心を養う。 ○ 共通の興味や関心をもつ同好の生徒が互いに協力していくなかで、自発的、積極的に活動する態度を養う。 		
月	予想される活動内容	留 意 点	準 備
5	1. 草花の栽培について話し合う。 (1) 草花の種類をしらべる。 (2) 春まき草花をしらべる。 ○ マリーゴールド、ヒマワリ、アサガオ、サルビアなど。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 草花の育て方について教師が説明する。 ○ 花園にどのような花が咲いているか、また、いつごろ種まきをしたかなどしらべさせ、草花に関心をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花ごよみ ・栽培計画表
9	(3) 秋まき草花をしらべる。 ○ パンジー、キンセンカ、ペチュニア、ナデシコなど。 ○ アネモネ、チューリップなど	<ul style="list-style-type: none"> ○ 球根や宿根草についても取り扱う。 	
5	2. 草花の種まきをする。 (1) 種まきの準備をする。 ○ 用土、育苗床、種子	<ul style="list-style-type: none"> ○ 種子の大きさによってまき方の違うことに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗箱 ・用土 ・ふるい
8	(2) 種まきをする。 (3) 球根を植える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 種まきは育苗箱を用いて草花の名称や生徒の名札をたて各人に責任をもって育苗管理にあてさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乾砂
9	3. 育苗の管理をする。 (1) かん水をする。 (2) 移植をする。 ○ 広げ植え、鉢あげ	<ul style="list-style-type: none"> ○ かん水は当番制にして管理させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・じょうろ ・移植ごて
5	(3) 追肥や除草をする。 4. 花園や鉢に植え付ける。 (1) 除草、追肥、中耕をする。 (2) 支柱や誘引、整枝をする。 (3) 薬剤散布をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 除草は機会あるごとにさせる。 ○ 鉢はおとさないように両手に持たせ丁寧に取り扱いさせる。 ○ 追肥は根元に施肥しないようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗箱 ・用土 ・鉢 ・肥料 ・農具 ・農薬
7	5. 草花の観賞をする。 (1) 切り花用を観賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教室に配布したり、玄関前に展示したりして栽培の喜びを味わわせる。 	
3	(2) 鉢物用を観賞する。		

学校行事

1. 基本的な考え方

学校行事は、児童生徒の学校生活に望ましい秩序や変化をもたらす、総合的で、しかも実践的な活動を通して学校の教育目標の達成に寄与しようとする教育活動である。精神発達遅滞児教育においても、この教育活動は、具体的経験の場やいろいろな学習内容が統合された活動の場を与え、児童生徒の学校生活に欠くことができないものである。

本校においては、学校行事を全校または学部の児童生徒による実践活動としてとらえている。実施にあたっては、児童生徒の能力や特性に応じた内容や方法を取り入れ、行事にかかわる事前および事後の学習活動を大切にしながら思い出に残る楽しい行事を目ざして実践している。

学校行事は、主として全校あるいは学部的な規模で行われるので、殊に本校のような養護学校における少人数の学級単位の活動では経験できないさまざまな体験を得させることができる。また、大きな集団で組織的に活動するため集団への所属感や連帯感が培われ、規律、協同、責任など集団活動における望ましい態度の育成が期待できる。さらに、児童生徒の実態に応じていろいろな役割を分担し、できるだけ多くの者が実践できる活動の場を取り入れることで、行事参加への喜びを味わわせるとともに、そこで得た成功感や満足感が彼らの学校生活の中での自信につながっていくものである。

このようにして、学校行事を学校生活の中に適切に組み入れていくことにより、学校生活に折り返しが正され、生き生きとしたリズムや楽しさが与えられ、児童生徒の学習意欲も高まっていくものと考えられる。

2. 目標

学校生活に秩序と変化を与える集団活動を通して、日常の学習成果の総合的な発展を図るとともに、集団における望ましい態度を育てる。

3. 配慮事項

- 自主的な活動を促し、楽しい行事の展開を図るために、児童生徒の発達段階に応じた内容を選定し、負担過重とならないようにする。
- 児童生徒の健康、安全に十分配慮し、事故防止に努める。
- 日常の学習活動の総合的な発展を図るために、他教科、領域との関連を十分に考慮する。
- 特定の時期だけに行事が集中しないように、年間を見通した計画づくりを行う。

学校行事一覧表

分類 月	職 式 ページ	学 芸 ページ	体 育 ページ	保 健 安 全 ページ	遠 足 旅 行 ページ	勤 勞 生 産 ページ	
4	・入学式 461 ・始業式 463			・定期健 康診断	473 ・春の一日 遠足	475 ・仲よし 作業	484
5		・スケッ チ大会 465	・小運動会	467 468	・交通安 全教室 472	・海辺の生 物の観察 (小) 482	
6						・職場実習 壮行会	484
7	・終業式 463			・健康相 談 474		・美化作業	485
9	・始業式 463		・秋季大運 動会 468 470	・健康相 談 474		・仲よし 作業	
10					・秋の野山 の観察と 登山(中) ・野外観察 (高) 483	・職場実習 壮行会 483	484
11				・避難訓 練 472	・秋の一日 遠足 476 477		
12	・終業式 463	・人形劇 観賞会 465				・美化作業	485
1	・始業式 463		・ボウリン グ大会(高)	471			
2	・立志式 464	・学習発 表会 466	・持久走大 会 470	・健康相 談 474			
3	・卒業式 462 ・終了式 463				・お別れ遠 足 478	・仲よし 作業 ・美化作業	484 485
				・健康相 談 474	・修学旅行 479 481		

学校行事指導計画

儀式的行事

行事名	入 学 式	時間	1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新1年生に入学する喜びを味わわせ、それぞれの学部の児童生徒としての自覚と所属感を深めさせる。 ○ 在校生は新入生を迎えることにより、下級生の世話をしたり、親切にしてあげたりする気持ちを培う。 ○ 保護者や児童生徒、教師が互いにふれ合うことにより、親近感をもつとともに学校との連帯感を深める。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<p>1. 新入生が入場する。</p> <p>2. 会順にそって進行する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 会 順 —</p> <p>(1) 一 同 礼</p> <p>(2) 開 式 の こ と ば</p> <p>(3) 国 歌 斉 唱</p> <p>(4) 新 入 生 紹 介</p> <p>(5) 入 学 式 の こ と ば</p> <p>(6) 職 員 紹 介</p> <p>(7) 歓 迎 の こ と ば</p> <p>(8) お 祝 の こ と ば</p> <p style="padding-left: 20px;">・ P T A 会 長</p> <p>(9) 新 入 生 の こ と ば</p> <p>(10) 校 歌 斉 唱</p> <p>(11) 閉 式 の こ と ば</p> <p>(12) 一 同 礼</p> </div> <p>3. 退場する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 在校生は、式の始まる10分前には入場を終わらせるようにする。 ○ 在校生については、事前指導を通して、自分たちの入学の頃を思い出させ、心をこめて歓迎しようとする心構えをもたせる。 ○ 事前に保護者と連絡をとって、健康上留意すべき児童生徒を把握しておく。 ○ 新入生の氏名の読み方に誤りがないように確認しておき、親しみをもって紹介する。 ○ 新入生担任を中心として全職員を紹介する。 ○ 歓迎のことは担当する児童生徒と連絡をとって春休み中に指導しておく。 ○ 本校中学部卒業生の中より、新入生のことはという代表生徒を選ぶ。 ○ 式典終了後、来賓の退場に続いて在校生が退場させる。 ○ 新入生は、その場に残り記念撮影をしてから教室に入らせる。 ○ 在校生は式後のかたづけを行わせる。 ○ 各教室は氏名カードや似顔絵、歓迎のことはなどで設営し、親しみのある雰囲気をつくる。 	

行事名	卒業式		時間	1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい門出を祝福し、それぞれの学部を卒業する喜びを味わわせるとともに、新しい生活への希望をもたせる。 ○ それぞれの学部の卒業を節目として、お互いの友情をさらに深めるとともに、学校や家庭・社会に感謝する心情を養う。 ○ 在校生は、先輩の卒業を祝福し、これを契機にして先輩の良い面を見つめ、新年への決意と希望をもつようにさせる。 			
行 事 の 内 容		留 意 点		
<p>1. 卒業生が入場する。</p> <p>2. 会順にそって進行する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 会 順 —</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 一 同 礼 (2) 開式のことば (3) 国歌斉唱 (4) 卒業証書授与 (5) 学校長卒業式のことば (6) 教育学部長はげましのことば (7) お祝のことば (8) 卒業生をおくることば 卒業生お別れのことば (9) 保護者代表あいさつ (10) 校歌斉唱 (11) 閉式のことば (12) 一 同 礼 </div> <p>3. 卒業生が退場する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 在校生は、式の始まる10分前には入場を終わらせるようにする。 ○ 入場は音楽を流して、雰囲気のを和らげる。 ○ 卒業生が入場し、会場が落ちついた時点で開幕し、式の厳粛さを高める。 ○ それぞれのことばを受けるときは、卒業生を起立させる。 ○ ことばは、長すぎないように3分程度とする。 ○ 在校生、卒業生のことばは、できるだけ発音がはっきりするように配慮する。 ○ 卒業生の退場は、はたらの光の曲で送り、担任が列の前後に立ってタイミングよく行わせる。 ○ 来賓、在校生の退場を見はからって、会場において記念撮影をする。 ○ 記念撮影後、お別れ会に参加させる。 ○ 在校生は式後のかたづけを行わせる。 			

行事名	○ 学 期 始 業 式	時間	学期毎に各1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〇休みを終えて友だちと元気に〇学期を迎えた喜びを味わわせる。 ○ 〇学期の学校生活への見通しをもたせるとともに、明るい希望をもって学習に取り組もうとする意欲をもたせる。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
1. 式場へ入場する。 (1) 各学部ごとに整列する。 2. 会順にそって進行する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">会 順</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) はじめのことば (2) 校長先生のはなし (3) 〇学期を迎えて <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学部代表児童生徒のはなし (4) 〇学期の生活 (5) 校 歌 斉 唱 (6) おわりのことば </div> 3. 教室へ移動する。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 入場や整列を通して、休暇中の生活から規律的な学校生活に移る不安を和げる雰囲気をつくる。 ○ 式の運営は儀式的行事係によってすすめる。 ○ 経営目標から〇学期における約束を取り上げる。 ○ 各学部の代表児童生徒と連絡をとり、休み中の思い出や〇学期への抱負などをまとめさせておく。 ○ 生活指導部の担当により〇学期の楽しい行事などを中心に興味・関心を深める話題をとりあげ、〇学期への見通しをたてさせる。 ○ 式後の学級指導に式における話をとりあげる。 	
行事名	○ 学 期 終 業 式	時間	学期毎に各1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの楽しい思い出を振り返り、〇学期を無事に終えることができた喜びを味わわせる。 ○ 〇休みの意義についてわからせ〇休みを安全に、有意義にすすす心構えをもたせる。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
1. 式場へ入場する。 (1) 各学部ごとに整列する。 2. 会順にそって進行する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">会 順</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) はじめのことば (2) 校長先生のはなし (3) 〇学期を終えるにあたって <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学部児童生徒のはなし (4) 〇休みの生活について (5) 校 歌 斉 唱 (6) おわりのことば </div> 3. 教室へ移動する。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学部において、前日に会順について指導しておく。 ○ 式の運営は儀式的行事係によってすすめる。 ○ 学校経営の立場から休暇中の課題について話す。 ○ 各学部の代表児童生徒に、これまでの学校生活の反省や休み中の心得について事前指導する ○ 休み中の生活のきまりをもとに、〇休みの生活について確認する。 ○ 式後の学級指導において、式におけるはなしなど学年に応じて取り上げる。 	

行事名	立 志 式 (中 学 部)	時間	1
目 標	○ やがて中学部の最上級生となる2年生に目覚をもたせる。		
行 事 の 内 容		留 意 点	
1. 2年生が入場する。 2. 会順にそって進行する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> — 会 順 — 1. はじめのことば 2. 点 呼 3. 校長先生の話 4. 2年生の決意 5. はげましのことば(3年代表) 6. 歌(中学部の歌・若者たち) 7. おわりのことば </div> 3. 2年生は退場する。		○ 1・3年生は拍手で迎える。 ○ 学部の儀式係で会を進める。 ○ 2年生を担任が点呼し、元気よく返事させる。 ○ 立志式の意味と励ましについて講話をお願いする。 ○ 担任の指導により、生徒の実態に即した内容と方法で抱負を発表させる。 ○ 先輩である3年生からはげましのことばを受ける。 ○ 残りの学年であとしまつをさせる。	

学芸的行事

行事名	スケッチ大会	時間	6
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しくスケッチすることによって、心の解放や造形の表現能力の伸長を図る。 ○ 作品を展示、公開することにより、作品を鑑賞し合い、発表の喜びを味わわせる。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 集合をする（学部別）。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 目的・場所・日程等を聞く。 (2) 諸注意を聞く。 (3) 用具の点検をする。 2. 目的地へ出発する。 3. 目的地に着き、題材を決めて絵をかく。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 題材をきめる。 (2) 実際に絵をかく。 4. あとしまつをする。 5. 学校（又は教室）へ帰る。 6. 作品の処理について説明を聞く。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内又は学校近くの校外を目的地とし、経費がかからぬよう努めるとともに、学校周辺に多くの題材があることをわからせる。 ○ 安全に気をつけ、しっかり並んで歩かせる。 ○ 目的地での行動に関する指導を徹底し、管理者に迷惑がかからぬようにつとめる。 ○ 思いっきり精いっぱい表現できる題材を決めさせ、いっしょうけんめい、のびのびとかかせる。 ○ 使用前と同じ状態にかたづけさせる。 ○ 表彰や展示に関する話を話し、作品を仕上げることについての意欲をもたせる。 	

行事名	人形劇観賞会	時間	1
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ すぐれた人形劇や紙芝居を観賞させることにより、感動体験を得させ、豊かな情操を養う。 ○ 人形劇や紙芝居を見て、おもしろかったことを言葉や動作で表すことにより、表現することの楽しさを味わわせる。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 会場に集合する。 2. 演技者の紹介を聞く。 3. 人形劇や紙芝居を観賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 人形劇「○○○○○」 ○ 紙芝居「○○○○○○」 4. お礼のあいさつをする。 5. 退場する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ いすをもって集合させる。 ○ 鹿児島大学児童文化研究会を中心に、市内の大学サークルに出演を依頼する。 ○ 中・高等部生徒はかんたんな感想が話せるようにしっかり観賞させる。 ○ 生徒会会長にお礼のあいさつをさせる。 	

行事名	学 習 発 表 会	時間	4
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学部や学級での1年間のできごとを思い出させ、日常の学習活動の成果を発表する喜びを味わわせる。 ○ 児童・生徒の作品や歌、ダンス、劇などの演技を通して、表現力を高める。 ○ 準備や練習を通して協力し、根気よくやりとげる態度を養う。 ○ 発表を通して、父母や地域の人々とのふれあいを深める。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席点検・健康観察をする。 2. 会場に集合する。 3. 校長先生の話聞く。 4. 演技をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学部（リズム・劇） ○ 中学部（リズム・劇） ○ 高等部（リズム・劇） ○ 賛助出演（職員合奏・PTA種目） ○ 全員合唱 ○ 係の仕事 5. 講評を聞く。 6. 退場をする。 7. 学級でかんたんな反省をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ プログラム前半の出演者は、舞台衣装を整えて人場させる。 ○ 行事の主旨や観覧者へのあいさつを中心とした講話を準備する。 ○ 各学部所要時間30分をこえない程度の演技を発表させる。 ○ プログラム順は、学部のリズムや劇を混入させ、進行が円滑されるよう編成する。 ○ 途中で15分程度の休息をとり、トイレの時間やプログラム後半の出演者の準備等にあてる。 ○ 指揮は子どもにさせる。 ○ 中・高等部の生徒を中心に係活動させ、事前に係分担を決めておく。 ○ 演技に対する総評と、観覧者へのお礼を中心とした講話を準備する。 ○ あとしまつは後日、中・高生徒と職員で一斉に行うことができるように計画を立てておく。 ○ 学級でかんたんに行事の反省について発表させ努力に対しての賞賛をする。 	

体育的行事

行事名	小 運 動 会	時間	4
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ こどもの日にちなんだこいのぼりをあげたり、親子がいっしょに運動したりして楽しいひとときを過ごさせる。 ○ 運動やゲームを通して体力の向上を図るとともに、協力したり、自分の責任を果たしたりして集団生活に必要な能力や態度を養う。 ○ 小学部、中学部、高等部の児童生徒および教職員、父母が一堂に集まり活動することにより、お互いの理解を深め、協力態勢を強める。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<p>1. 入場行進をする。</p> <p>(1) 国旗、校旗を持って行進する。</p> <p>(2) こいのぼりを持って行進する。</p> <p>(3) 手を取り合って行進する。</p> <p>2. 開会式をする。</p> <p>(1) 国旗、校章旗を掲揚する。</p> <p>(2) こいのぼりを掲揚する。</p> <p>(3) 児童生徒代表宣誓をする。</p> <p>(4) 準備運動をする。</p> <p>3. 競技をする。</p> <p>(1) 小学部の児童が競技する。</p> <p>(2) 中学部の生徒が競技する。</p> <p>(3) 高等部の生徒が競技する。</p> <p>(4) 応援合戦をする。</p> <p>(5) 役員の仕事をする。</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 放送係 ○ 用具係 ○ 審判係</p> <p>4. 閉会式をする。</p> <p>(1) 整理運動をする。</p> <p>(2) 参加賞を受ける。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒会役員に持たせ、役員としての意識を高めさせる。 ○ 大きなひごい、まごいを各学部の代表に協力して持たせて行進させる。 ○ 中央に高等部、内側に小学部、外側に中学部と各一列に並ばせ互いに手を取り合って行進させる。 ○ 応援団長には団旗を持って行進させる。 ○ 児童生徒会役員に掲揚させる。 ○ こいのぼりの歌を歌いながら図画工作や美術の時間に製作したこいのぼりを小学部の児童に掲揚させる。 ○ 高等部の生徒に宣誓させる。 ○ ラジオ体操第一をさせる。 ○ 各学部40分以内で競技を設定する。 ○ 種目内容は、児童生徒の実態を考慮して設定し毎年同じ内容で実施するようにする。 ○ 各学部、赤白それぞれ1名ずつをリーダーとして応援させる。 ○ 役員は仕事内容や生徒の適性を考慮して決める。 ○ 腕章を準備して役員としての意識を高めさせる。 ○ 生徒に示範させる。 ○ 各学部でがんばった児童生徒を一人ずつ選出し受けさせる。 	

行 事 の 内 容	留 意 点
(3) 校歌斉唱をする。 (4) 国旗、校章旗、こいのぼりの降納をする。 (5) 万才三唱をする。 5. 後始末をする。 (1) 自分のいすを教室へ運ぶ。 (2) 体育館の机やいすを始末する。 (3) 放送機器や用具を始末する。 (4) テントを始末する。 (5) トラックにブラシをかける。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指揮を児童生徒にさせる。 ○ 児童生徒会役員および小学部児童に降納させる。 ○ 音楽なして降納させる。 ○ P T A会長が音頭をとり、父母、教官が率先して元気な声を出す。 ○ 小学部児童の後始末は、自分のいすを教室へ運ぶだけとし、中・高等部の生徒は、器具や用具の後始末をさせてから自分のいすを始末させる。 ○ 体育館まで運ぶ係、雑布で砂をふき取る係、倉庫へ収納する係とそれぞれ役割分担しておく。 ○ 中・高等部全員に役割分担して始末させる。 ○ テントの始末は、必ず教師の指導のもと、安全に十分配慮しながらさせる。 ○ ブラシは、器具や用具の始末が全て終わってからかけさせる。

行事名	秋 季 大 運 動 会	時間	6
-----	-------------	----	---

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動を主とした諸々の活動を意欲的に最後までやりとおす経験を通して、体力と気力の充実を図るとともに活動の喜びを味わわせる。 ○ 競技者および役員として参加させることにより協力、責任を含む自律、協同の態度を養う。 ○ 児童生徒や彼らを取りまく人々が一堂に集まり共通の活動を行うことにより、お互いの理解を深め協力の態勢を強める。
-----	---

行 事 の 内 容	留 意 点
1. 準備をする。 (1) 全体的な準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ ライン引き ○ 放送機器 ○ 国旗、校旗、応援旗 ○ はちまき 他必要な用具 (2) 個人的な準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 服装 ○ 用便 ○ 応援席いす ○ 健康観察 他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会前に準備するものについては、あらかじめリストアップするとともに運び出しやすいように整理しておく。 ○ 中・高等部の生徒に準備させる。 ○ 小学部の児童は、用便してから自分のいすを持ってグラウンドに集合させる。 ○ 健康観察は、入場行進の前に整列した場所で行う。

行事の内容	留意点
<p>2. 入場行進をする。</p> <p>(1) 国旗、校旗を持って行進する。</p> <p>(2) 赤白の団旗を先頭にして行進する。</p> <p>(3) 整列する。</p> <p>3. 開会式をする。</p> <p>(1) 国旗、校章旗を掲揚する。</p> <p>(2) 優時旗、優勝杯を返還する。</p> <p>(3) 児童生徒代表宣誓をする。</p> <p>(4) 運動会の歌を斉唱する。</p> <p>(5) 競技上の注意を聞く。</p> <p>(6) 準備運動をする。</p> <p>(7) 退場する。</p> <p>4. 応援合戦をする。</p> <p>5. 競技をする。</p> <p>(1) 入場する。</p> <p>(2) 種目紹介をする。</p> <p>(3) 競走や演技をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 短距離走 <p>(4) 得点板に得点札をかける。</p> <p>(5) 表彰を受ける。</p> <p>(6) 退場する。</p> <p>(7) 学部種目をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ダンス ○玉ころがし 他 <p>(8) 全体種目をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ つな引き ○ 紅白リレー 他 <p>(9) 役員の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 審判係 ○ 用具係 他 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校旗は生徒会長、国旗は生徒会役員に持たせる。 ○ 学部別に男女混合で背の高い順に2列で行進させる。 ○ 教官1名は学部先頭の内側に並び誘導し、他は学部の後尾に並んで行進する。 ○ 一人ひとりの位置は、ポイントを打って示しておく。 ○ 教官は原則として生徒に対面して2列に並ぶ。 ○ 開閉会式の礼は、脱帽しないで行わせる。 ○ 国歌の斉唱に合わせて児童生徒役員が行う。 ○ 赤、白の団長が行う。 ○ 高等部の生徒にさせる。 ○ 指揮は、小、中学部の児童生徒の中から選ぶ。 ○ やさしい言葉で簡潔に述べる。 ○ ラジオ体操第一をさせる。 ○ かけ足で応援席へ行かせる。 ○ 学級1名ずつのリーダーに笛、扇でリードさせる。 ○ 発達段階に即した競技内容を工夫する。 ○ かけ足や行進で元気よく入場させる。 ○ 種目内容や決意などを簡単に発表させる。 ○ 放送、審判、用具準備などできるだけ生徒の係に活動させる。 ○ 短距離走…1位3点 2位2点 以下1点 団体競技 つな引き…勝5点 負け2点 紅白リレー…1位6点 2位4点 3位3点 4位1点 を与える。 ○ 賞状とメダルを一緒に授与する。 ○ 笛の合図があるまでしっかりかけ足させる。 ○ 実態に即して、内容や方法を工夫する。 ○ 勝、負けを決めるものは、採点する。 ○ 児童生徒の実態に応じて方法や内容等を工夫する。 ○ 役員には腕章をつけさせ自覚を促す。 ○ 活動しやすいように適切な指導、援助を行う。

<p>6. 閉会式をする。</p> <p>(1) 入場し、整列する。</p> <p>(2) 整理運動をする。</p> <p>(3) 成績発表を聞く。</p> <p>(4) 優勝旗、優勝杯を授与する。</p> <p>(5) 参加賞を授与する。</p> <p>(6) 校歌を斉唱する。</p> <p>(7) 国旗、校章旗を降納する。</p> <p>(8) 万才三唱をする。</p> <p>7. あとしまつをする。</p> <p>(1) 運動会用具をしまう。</p> <p>○ はちまき ○ バトン ○ 信号器 ○ 等級旗 他</p> <p>(2) 応援席用具をしまう。</p> <p>○ 放送機器 ○ 机 ○ いす</p> <p>○ テント ○ 万国旗 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国旗を先頭にかけて足で入場、整列させる。 ○ ラジオ体操第一をさせる。 ○ 発表は生徒に行わせ、勝った組は万才、負けた組は拍手を教師が率先して行う。 ○ 小学部1年生の赤組、白組代表に授与する。 ○ 指揮者は高等部生徒に行わせる。 ○ 音楽なしで降納させる。 ○ P T A会長の音頭で参加者全員大声で行う。 ○ 児童生徒の実態を考慮し、学部単位で役割分担しておく。 ○ 父母には、生徒と一緒に作業するよう呼びかける。 ○ 机やいすは雑布で土をふき取ってからしまわせる。
--	--

行事名	持 久 走 大 会	時間	4
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長距離を最後まで走りぬくことにより、持久力を主とした体力と認耐力を養う。 ○ 児童生徒、父母が一堂に集まり、競技したり応援したりすることを通して、お互いに理解を深め、協力する態度を養う。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<p>1. 開会式をする。</p> <p>(1) 開会のあいさつを聞く。</p> <p>(2) 競技上の注意を聞く。</p> <p>(3) 児童生徒会代表宣誓をする。</p> <p>(4) 準備運動をする。</p> <p>2. 競技をする。</p> <p>(1) 小学部の児童が走る。</p> <p>(2) 中学部の生徒が走る。</p> <p>(3) 高等部の生徒が走る。</p> <p>3. 閉会式をする。</p> <p>(1) 整理運動をする。</p> <p>(2) 表彰を受ける。</p> <p>(3) 閉会のあいさつを聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 寒い時は、ジャンパー、アノラック等で暖かくさせる。 ○ 父母も整列したり準備運動をしたりして、参加の意識を持たせる。 ○ 走る距離やグループ等は、児童生徒の実態に即して各学部で設定する。 ○ 走り終わったらフィールド内を歩かせ、呼吸が静まったら整理運動をさせる。 ○ できるだけ父母も一緒に走らせる。 ○ 天候によってプレイルームでの閉会式も考慮する。 ○ 走った後の健康管理に留意する。 	

行事名	ボウリング大会（高等部）	時間	4
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボウリングのルールやマナーがわかり、みんなと楽しくゲームができるとともに、社会生活における余暇利用に役立てる能力を培う。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ボウリング大会について話し合う。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 計画を調べる。 (2) グループ分けする。 2. ボウリング場へ出発する。 3. 開会式をする。 4. ボウリングをする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 靴をはきかえる。 (2) ボウルを選ぶ。 (3) 指定されたレーンでゲームをする。 (4) 総合点を計算し、順位を決める。 5. 閉会式をする。 6. 帰校する。 7. 感想を発表し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 日程についてはあらかじめプリントしておく。 ○ 学部生徒会の役員を中心に、教師も含めて1グループ3～4名で編成させる。 ○ 交通道徳を守らせグループ毎に並んで歩かせる。 ○ 靴の注文やはきかえなどは、できるだけ一人でさせる。 ○ ボウルの選び方や投げ方などは、必要に応じ適宜指導する。 ○ ゲームの中で必要なルールやスコアのつけ方など必要に応じて指導する。 ○ 順位をつけた全員のスコア一覧表を掲示して、順位やスコア等に興味を持たせる。 ○ 楽しかったこと、難しかったことを発表させる。 	

保健安全的行事

行事名	避難訓練（火災…1）（地震…1）	時間	各1
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火事や地震などの災害から、身体や生命の安全を守るために必要な知識や習慣を養う。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 避難のしかたについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 火事 ○ 地震 ○ 避難する時の約束 2. 避難する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 放送を聞く。 (2) 担任や授業担当者の指示に従う。 (3) 避難行動をする。 (4) 避難場所に整列する。 (5) 人員点呼をする。 3. 反省をする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校長先徒の話を書く。 (2) 講評を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難の態度 ○ 約束他 		<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの訓練の経験をもとに火事と地震における避難方法のちがいについて発表させる。 ○ 災害の種類、避難命令については、明瞭に言う。 ○ 火事の際は窓を閉め、ハンカチで口や鼻を押さえて避難させる。 ○ 地震の際は窓を開け、帽子やカバン等で頭を保護して避難させる。 ○ 「走らない」「話さない」「押さない」の約束が守れたか互いに確認し合わせる。 ○ 必要に応じて消火器を使った消火訓練を行わせる。 	

行事名	交通安全教室	時間	1
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 模擬道路における安全な横断や自転車の乗り方などの練習を通して、交通安全に関する理解を深め、安全に行動しようとする意識や態度を育てる。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめのことばを聞く。 2. 校長先生の話を書く。 3. 指導者の講話を書く。 4. 道路横断や自転車乗りの練習をする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 道路の横断をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 信号機のある交差点の横断 ○ 信号機のない交差点の横断 (2) 自転車の安全な乗り方の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 発進 ○ 右折 ○ 左折 ○ 停止など 5. 講評を書く。 6. お礼のことばを言う。 7. おわりのことばを書く。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に交差点や横断歩道、信号機など実際の道路に近づけた場の設定をしておく。 ○ 生徒の実態に合った話をするよう事前に連絡しておく。 ○ 教師も一緒に横断しながら指導する。 ○ 「手を挙げて、右見て左見てまた右を見て渡る中央まできたら左を見ながら渡る」とみんなで言いながら練習させる。 ○ 自転車の指導を受ける生徒は、あらかじめ指定しておく。 ○ 腹話術や映画なども取り入れた話も依頼する。 ○ 練習の状態は連絡帳で知らせ、問題点については家庭と学校と連携して指導を続ける。 	

行事名	定期健康診断	時間	5
目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒個々の発育・発達状態や健康状態を把握し、疾病異常の早期発見につとめるとともに、学習活動の能率を妨げる疾患の予防や早期治療をすすめる。 		
行事の内容		留意点	
<p>1. 定期健康診断について知る。</p> <p>(1) 測定や検診の内容を聞く。</p> <p>(2) 測定や検診前の注意事項を聞く。</p> <p>2. 定期健康診断を受ける。</p> <p>(1) 身体測定を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 身長 体重 胸囲 座高 聴力検査 色覚検査 視力検査 <p>(2) 歯科検診を受ける。</p> <p>(3) 眼科検診を受ける。</p> <p>(4) 耳鼻咽喉科検診を受ける。</p> <p>(5) 整形外科検診を受ける。</p> <p>(6) 内科検診を受ける。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康や発育に興味をもたせる。 眼脂（めやに）、鼻汁の有無、口腔の清潔などを観察し、受け方を指導する。 教師の役割分担や測定方法・検査器具の配置は事前に計画し、共通理解を図っておく。 測定器具の準備・点検を事前に行う。 欠席者は後日、保健室にて検査を行う。 聴力の検査困難なもの、異常のあったものは、後日、保健室にて再検査を行う。 視力検査場と視力表表面の明るさに留意する。 前年度の検診結果を学校医へ提供する。 検査を恐がるものは、担任が介助等を行う。 全学年をプレイルームに集合させ、学部別・学年別・出席番号順に並ばせる。 聴力検査の結果を提供する。 家庭で除去できる耳垢はとってこさせる。 上半身裸で検者から1～2m離れて直立姿勢をとらせて受診させる。 全部の検査・検診の結果を提供するとともに、担任も立ち会い日常観察の問題点を出して、総合判定とする。 健康診断結果の通知書を各家庭に出すとともに教育活動の一環として保健指導や事後措置を行い経過観察をする。 	

行事名	健康相談（水泳前・大運動会・持久走大会・修学旅行）	時間	各1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒を各行事へ安全に参加させるとともに、児童・生徒が積極的に健康の保持増進に関心を持ち実践する態度を養う。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席番号順に整列する。 2. 健康相談を受ける 3. おわりのあいさつをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康診断や日常の健康観察の結果から個人の実態を把握し、問題点を整理しておく。 ○ 下着は清潔なものを身につけさせる。 ○ 心音が聴き取れるように静かに待たせる。 ○ 上半身は裸になり、聴診を受けやすくさせる。 ○ 介助を必要とするものは担任が行う。 ○ 健康相談の結果通知を各家庭に出すとともに、疾病異常があった場合は、主治医や専門家の診察を受け、その結果を報告させる。 ○ 健康相談後に異常があった場合は、必ず養護教諭に連絡する。 	

遠足旅行的行事

行事名	春の一日遠足		時間	6
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師や友達と一緒に、春の野山を歩いたり、歌ったり、踊ったりすることで、自然に親しんだり、みんなと親ほくを深めたりできるようにする。 ○ 集団行動や公衆道徳を守る態度を身につけさせ、実践できるようにする。 			
行 事 の 内 容		留 意 点		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 集合をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小, 中学部……学校 ○ 高 等 部……鹿児島駅前 2. 出発式を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康観察, 初ち物の点検, 目的地や日程の確認, 諸注意 3. 出発する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小, 中学部……スクールバス ○ 高 等 部……徒歩 4. 登山する (磯山)。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 園内見学 ○ 登山 5. レクリエーションをする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校長先生の話聞く。 (2) 新入生紹介を聞く。 (3) 歓迎のことばを聞く。 (4) みんなで歌おう, 踊ろう。 6. 昼食をとる。 7. 自由活動を行う。 8. 出発する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 下山 ○ 小, 中学部……スクールバス ○ 高 等 部……民間バス 9. 解散式を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高等部の生徒は、電車やバスを利用して鹿児島駅前に集合させる。 ○ それぞれの場所で行い、目あてや日程がわかり活動に意欲をもてるようにする。 ○ 歩行時や乗降、車内での態度については、安全面に十分配慮し、事故防止に努めさせる。 ○ 小学部低学年と歩行困難な者は、ロープウェイを利用させる。 ○ 上級生には、下級生の手を引いたり、励ましたりさせ、上級生としての意識をもたせる。 ○ 新入生の名前を覚えたり、一緒に歌ったり踊ったりして歓迎の気持ちを表わさせる。 ○ 全員で大きな輪をつくって座り、他学部生とのかかわりをもたせるようにする。 ○ 草花や動物の観察を中心に学部ごとに行動させる。 ○ 出発前には用便指導、持ち物の点検等を行う。 ○ 下山時の歩行や追い越しなどについて、安全面に十分配慮し、事故防止に努める。 ○ 楽しかったこと、がんばったことをもとに話し合いまとめをする。 			

行事名	秋の一日遠足（小学部）	時間	6
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな動物を見て、動物に対する興味・関心を高めたり、遊具に乗って楽しく遊んだりできるようにする。 ○ 集団行動の仕方につけ、乗り物や動物園でのきまりを守って行動できるようにする。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1 学校に集合する。 2 出発式を行う。 3 平川動物公園を見学する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 園内見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物 ・ 草花 ○ 昼食 ○ 固定施設、乗り物による遊び。 4 平川動物園を出発する。 5 解散式を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康観察や持ち物の点検、用便指導などを行う。 ○ 目的地や日程、約束などについて知らせ、すすんで活動をしようとする気持ちをもたせる。 ○ 「なかよしさん」と手をつないで行動させる。 ○ 動物の様子を見て、体つきや動き方について模倣したり、鳴き声をまねしたりさせる。 ○ 自動車や汽車、回旋などのいろいろな乗り物を経験させ、乗り物の楽しさを味わえるようにする。 ○ 持ち物の点検や用便指導などを行う。 ○ 楽しかったこと、がんばったことを発表させ、まとめをする。 	

行事名	秋の一日遠足（中学部）	時間	6
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野山での散策や活動を通して、秋の自然に親しませるとともに、互いの親ばくを深めさせる。 ○ 集団行動を通して、きまりや公衆道徳をわからせ、実践する態度を育てる。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1 学校に集合する。 2 出発式を行う。 3 県民の森で活動する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 森林学習展示館見学 ○ 樹木園、子供の森、遊歩道散策 ○ フィールドアスレチックでの活動 ○ 昼食 ○ 自由行動 4 県民の森を出発する。 5 解散式を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康観察や持ち物の点検、用便の確認等を行う。 ○ 目的地や日程等について知らせ、目あてをもって活動できるようにする。 ○ 樹木や草花に触れたり、小鳥の鳴き声を聞いたりすることで、自然の美しさやおもしろさに気づかせるようにする。 ○ グループで目あてをもって活動できるように指示や補助を行う。 ○ 楽しかったことや目あてにむかって努力したことなどを話し合わせてまとめをする。 	

行事名	秋の一日遠足（高等部）	時間	6
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋の野山の景色や大自然の美しさに触れ、植物や鳥の声などに関心をよせ、自然に親しむ心の豊かさを養う。 ○ 互いに助け合い、励まし合って登山することを通して、みんなに遅れず、ねばり強く行動することの大切さをわからせるとともに、体力の向上を図る。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1 学校に集合する。 2 出発式を行う。 3 霧島国立公園に着く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大浪池登山 ○ 散策 ○ 昼食 ○ 入浴 4 霧島国立公園を出発する。 5 解散式を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康観察や持ち物の点検などを行う。 ○ 目的地や日程などをわからせ、目あてをもってすすんで参加できるようにする。 ○ グループで行動させ、友達と協力していけるように補助を行う。 ○ 樹木や草花に触れたり、下界を眺めたり、小鳥の声を聞いたりすることで、自然の美しさを感じとらせるようにする。 ○ がんばったことや心に残ったことなどを話し合わせてまとめをする。 	

行事名	お別れ遠足		時間	6
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の自然の中で、みんなと一緒に活動することで楽しい思い出をつくり、卒業や進級の喜びを味わわせる。 ○ 集団行動を通して、きまりや公衆道徳をわからせ、進んで実践する態度を育てる。 			
行事の内容		留意点		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 集合をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小, 中学部…………バスセンター(西鹿兒島駅前) ○ 高等部…………学校 2. 出発式を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康観察, 持ち物の点検, 目的地や日程の確認, 諸注意 3. 出発する(目的地 県立吉野公園)。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小, 中学部…………民間バス ○ 高等部…………スクールバス 4. レクリエーションをする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校長先生の話聞く。 (2) 卒業生紹介を聞く。 (3) 各学部の出し物を発表する。 (4) みんなで歌おう, 踊ろう。 (5) 校歌斉唱をする。 5. 学部単位で活動する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 昼食会 ○ 散歩, 見学 ○ 固定施設を使った活動 ○ 記念撮影 6. 出発する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ バス利用(往路と同じ) 7. 解散式をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 小, 中学部の児童生徒は, 途中の安全面を考慮して, 親に付き添って送迎してもらう。 ○ それぞれの場所で行い, 目的や日程がわかり, 約束を守って活動できるようにする。 ○ 車の乗降時や車内では, 安全面やエチケットの面から望ましい態度ができるように指導する。 ○ 卒業生は, 卒業にあたっての決意や進路先を発表したり, 励ましの言葉を聞いたりして卒業生としての自覚をもてるようにする。 ○ 在学生には, 一年間の努力のあとを発表させたり, 成長したことを知らせたりして, 進級を喜ば合うようにする。 ○ 卒業生を中央に座らせ, みんなが「おめでとう」と言って祝福してから昼食会を始める。 ○ 好きな活動を十分にさせて, 楽しい思い出をつくれるようにする。 ○ 紙くずの始末や用具の片付けなどをして, 公共物の取り扱いを具体的に知らせる。 ○ 人員点呼, 持ち物の点検, 用便指導などを行う ○ 楽しかったことや目あてに添った活動ができたかななどを話し合っまとめをする。 		

行事名	修学旅行（小学部）		時間	1 2
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知らない土地で、自然やいろいろな施設を見学したり、乗り物を利用したりすることによって社会的な経験を広める。 ○ 集団行動の仕方を身につけさせるとともに、教師や友達と見学や寝食を共にすることによって人間関係を一層深め、小学部生活の楽しい思い出をつくらせる。 			
行事の内容（例）		留 意 点		
<p>1 駅に集合する（西鹿兒島駅）。</p> <p>2 出発式を行う。 〔</p> <p style="text-align: center;">一</p> <p style="text-align: center;">日</p> <p>3 乗車する。 目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おやつ、用便指導 <p>4 見学をする（宮崎県）。</p> <p>（1）青島周辺</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海岸の景色 <p>（2）子どもの国</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昼食 ○ 動物、植物の見学 ○ 乗り玩具 ○ 買い物 <p>5 宿舎に着く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入浴 ○ 夕食 ○ レクリエーション ○ 就寝 ○ 起床 ○ 洗面 ○ 朝食 ○ 着替え ○ 荷物の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康観察や持ち物の点検、用便の確認などを行う。 ○ 学校長、保護者代表、児童代表のあいさつを中心に行う。 ○ 車内での安全やマナーについて十分配慮し、楽しい旅ができるようにする。 ○ 二人組をつくり、各組に引率者が付き、補助や指示を与えるが、児童の意見を十分とり入れるようにする。 ○ 目新しい乗り物や遊具に乗るように勧め、驚きや喜びなどの体験を多くもてるようにする。 ○ 宿舎内での安全面、公衆道徳面から具体的な過ごし方について現場で知らせる。 ○ くつろいだ雰囲気の中なかで楽しく活動できるように、互いの部屋を訪ねたり、ゲームをしたりする。 			
<p>6 見学をする。</p> <p>（1）サファリパーク 〔</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 動物 ○ 昼食 <p>（2）デパート 日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物 目〕 <p>7 乗車する（宮崎駅）。</p> <p>8 帰着する（西鹿兒島駅）。</p> <p>9 解散式を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動物の名前や動き方、鳴き声など、動物の特徴に気づくように声かけをしてやる。 ○ 好きな物やおみやげを買う際に、あげる相手を具体的に想定させたり、お金の準備を補助して支払わせたりする。 ○ 持ち物を確認させ、忘れ物のないようにさせる。 ○ 出迎えの人に元気な声であいさつをさせ、みんなが無事に帰ってきたことを喜んでいることを感じとらせるようにする。 			

行事名	修学旅行（中学部）		時間	18
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旅行先の自然や風物、産業などに直接ふれさせるとともに生活経験を拡大させる。 ○ 校外における集団生活であることを互いに自覚させ、保健・安全や交通道德、きまりなどについてすすんで実践する態度を養うとともに、教師や友達と寝食を共にし、相互の理解を深め協力することによって、中学部生活の楽しい思い出をつくらせる。 			
行 事 の 内 容 (例)		留 意 点		
1. 駅に集合する（AM6：20）。 2. 出発式を行う。〔 3. 乗車する。日 ↑ 車中 目 ↓ 4. 駅に着く（宮崎駅）。 5. バスで市内観光をする（貸切バス）。 ○平和台 ○宮崎サファリーパーク 6. 駅から乗車し、目的地へ向う。 (1) 別府駅着（17：16）に着く。 (2) ホテル着（17：40）に着く。 (3) 宿泊する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早朝のため親同伴で集合させ、遅刻をしないよう事前に連絡する。 ○ 学校長、生徒代表、保護者代表等のあいさつを中心に簡単におこなう。 ○ 整然と並んで自分で荷物を持ち改札口を通り乗車させる。 ○ ガイドの説明をよく聞かせ、市内の風物・自然等に気づかせる。 ○ 公共交通機関利用の実践を通して、態度面の確立を図る。 ○ ホテル内におけるマナー等の学習を実際化させる。 			
7. 市内観光めぐりをする（貸切バス）。〔 ○地獄めぐり ○別府ラクテンチ 二 ○高崎山 ○別府マリンパレス 日 8. デパートで買物をする。目 9. ホテルに宿泊する。 10. 大分大学附属養護学校を訪問する。 (1) 交歓会をする。〔 ○茶話会 ○プレゼント交換 三 ○レクリエーションなど 日 11. 駅に着き、乗車する（大分駅）。目 ↑ 車中 ↓ 12. 駅に着く（西鹿児島）（17：08） 13. 解散式を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親と連絡し決めたおみやげを中心にグループ別に行動させ買物をさせる。 ○ 事前に学習した自己紹介やレクリエーション、プレゼント交換などを実際におこなわせ、お友だちができるよう楽しくすごさせる。 ○ 車中が長いので談話したり仮眠したりさせる。 ○ 車中でのマナーを体得させる。 ○ 忘れ物がないように下車させる。 ○ 元気な声であいさつさせ、出迎えの人たちに感謝の気持ちをもたせる。 			

行事名	修学旅行（高等部）	時間	24
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな地方の産業や文化、人々のくらしぶりなどに直接ふれさせることにより確かめたり、見聞を広めたりして、生活経験をより豊かにさせる。 ○ 集団で行動したり、寝食を共にしたりすることにより、好ましい集団行動の仕方や社会生活に適する力を培うとともに高等部生活の楽しい思い出をつくらせる。 		
行事の内容（例）		留意点	
1. 駅に集合する。 2. 出発式を行う。 3. 乗車する。 4. 乗継ぎをする（博多駅）。 5. 駅に着く（新大阪駅）。 6. ホテルに宿泊する（大阪）。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 遅刻者が出ないよう事前に十分打ち合わせをしておく。 ○ 乗降車や移動の際は自分の荷物を確かめて持たせ、整然とした行動をとらせる。 ○ 入室後はただちに、避難口や経路を知らせ、緊急事態に対して備える気持ちを持たせる。 ○ スナップ写真はよい思い出となるよう、できるだけ生徒たちに場所を選ばせるようにする。 	
7. 市内観光めぐりをする。 ○ 宝塚劇場（観劇） ○ 大阪城 8. 買物をする。 9. ホテルに宿泊する（京都）。			
10. 市内観光めぐりをする（京都、奈良）。 ○ 清水寺 ○ 映画村 ○ 奈良公園 11. 港に着く（大阪南港）。 12. カーフェリーに乗船する。 13. 船内泊をする。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に決めておいたおみやげを中心に、グループごとを買物させる。 ○ 昼間の活動が十分できるよう、消電時間はきちんと守らせる。 ○ 旅行後の学習のまとめが、容易となるよう、見学先では、メモをとらせたりしおりなどの資料を十分集めさせたりしておく。 	
14. ゲームやレクリエーションをする。 15. 下船の準備をする。 16. 下船をする（谷山港）。 17. 解散式を行う。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 船内の遊具はひとりじめにならないように、グループをつくったり、順番を決めさせたりして、皆で楽しませる。 ○ 自分たちの荷物を整理させて、忘れ物をしないようにしたり、あとをきれいにしたりさせる。 	

行事名	海辺の生きものの観察（小学部）	時間	6
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貝掘りや砂，水遊びをすることによって，海辺の様子や生きものへの興味・関心を高められるようにする。 ○ 身辺処理や集団行動の仕方，きまりを守る態度を身につけさせるとともに，親子で活動することによって親子の触れ合いや親同士の親ばくを深められるようにする。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<ol style="list-style-type: none"> 1 学校に集合する。 2 出発式を行う。 3 海岸に着く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 水，砂遊び ○ 貝掘り，生き物の採集，観察 ○ 昼食 ○ レクリエーション <ul style="list-style-type: none"> ・ うた，ゲーム 4 海岸を出発する。 5 解散式を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 期日は，大潮の時期に設定する。 ○ 事前に安全，衛生面などについて調査し，地元の警察，消防機関に連絡をしておく。 ○ 健康観察を入念にし，安全面に十分配慮して児童管理を行う。 ○ 生きものの絵や写真などを準備して，興味・関心をもって採集や観察ができるようにする。 ○ 親と子，親同士のかかわりのもてるような内容のものをとりいれる。 ○ 貝や採取したものをもとに，楽しかったことを思い出させてまとめをする。 	

行事名	秋の野山の観察（小学部）	時間	4
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋の野山で，ドングリやススキなどの木の実，草花やバッタなどの昆虫を採集したり，観察したりして秋の自然に触れることができるようにする。 ○ 採集や集合，整列，昼食などの活動を友達や教師，教育実習生と一緒にを行うことにより，互いの人間関係を深められるようにする。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<ol style="list-style-type: none"> 1 集合し，日程や諸注意を聞く。 2 出発する。 3 目的地に着く。 4 木の实や草花，昆虫などを観察する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 採集する。 (2) 名まえや特徴を調べる。 5 昼食をとる。 6 現地を出発する。 7 学校に着く。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 服装や持ち物を点検させる。 ○ 「仲よしさん」と組んで行動させる。 ○ 車内では安全面について具体的に指導したり，外の木の实や草花を見せたりする。 ○ ドングリやマツボックリ，オナモミ，ススキ，バッタ，コオロギなどを図鑑や絵カードで調べさせたり，分類させたりする。 ○ 昆虫の採集にあたっては，必要量にとどめる。 ○ 木の实などは，図画工作の学習へと発展させる。 ○ 昆虫を学級で飼育させ，様子を観察させる。 	

行事名	秋の野山の観察と登山（中学部）	時間	6
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋の野山の植物を観察したり，採集したりして，秋の野山の特徴についておおむね気づかせ，自然への関心を高める。 ○ 登山のきつさを体験させ，がんばって登ったという喜びを味わわせる。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 玄関前に集合し，日程や諸注意等に関する説明を聞く。 2 並んで順序よくバスに乗る。 3 目的地に着き，登山をする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 道ばたの植物の観察をする。 (2) 励まし合って登山をする。 4 頂上で答頂を喜び合い，みんなと仲よく昼食をとる。 5 下山をする。 6 バスに乗り，学校に着く。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの中での態度についての指導を強化し，安全に十分気をつけさせる。 ○ 秋の代表的な植物について説明したり，紅葉や落葉などに気づかせる。 ○ 汗をふき，おやつをとらせる。 ○ みんなと一緒に「バンザイ」をおこない，登頂の喜びを味わわせる。 ○ 生徒の実態に即して，班を編成し，全員安全に下山させる。 	

行事名	野外観察（高等部）	時間	6
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋の野山の植物や昆虫にふれる活動を通して，野山の特徴や自然に親しむ態度を育てる ○ 自然の中で思い切り活動させることにより，野外で体を動かすことの喜びや解放感を味わわせる。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1 日程や諸注意を聞く。 2 出発する。 3 目的地につき，荷物の整理をする。 4 野外での観察をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 植物のなまえを調べる。 ○ 植物や昆虫の採集。 5 昼食をとる。 6 レクリエーションをする。 7 荷物をまとめて現地を出発する。 8 学校に着く。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前の学習をふりかえらせて，特に日程や安全面で大切なことを確めさせる。 ○ 車中では，途中での野山の様子にふれるなどして，秋のようすへ興味づけをする。 ○ 観察の活動では，あらかじめ準備した図鑑でなまえを調べさせたり，必要量の採集にとどめさせたりする。 ○ 休憩はボールなど体いっぱいを使って楽しめる遊具を準備して楽しくすごさせる。 	

勤労生産的行事

行事名	仲よし作業	時間	各1(4月, 9月, 3月)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校児童・生徒で共同美化作業を行うことにより、校内を美しくしていこうとする態度や、みんなと協力することの必要性、働くことの大切さを感じとらせる。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業に必要な用具を準備する。 2. グランドに集合して作業内容を聞く。 3. 分担の班ごとに別れて作業をする。 4. 集合して作業の反省をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ がんばったこと。 ○ 注意されたこと。 5. 後始末をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒会の係や役員を中心に、一輪車、バケツ、移植ごて、竹へらなどを準備させ、自分たちの仲よし作業であることを意識づける。 ○ 作業内容は、除草、危険物除去、石ころ拾いなどを中心に、適時性を考慮したり、子どもたちの希望を取り入れたりして設定する。 ○ 作業分担は、学部集団にとどまらず、縦割の班編成など、全校児童・生徒ができるだけ触れ合える機会を設け、お互いの連帯感を深めさせる。 	

行事名	職場実習壮行会	時間	各1(6月, 10月)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場実習のめあてを発表したり、激励を受けたりすることを通して、実習に対しての自覚や働くことへの意欲を高める。 ○ 友達や先輩の実習先とめあてを知ることにより、仕事への興味・関心を高める。 		
行 事 の 内 容		留 意 点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 体育館へ入場する。 2. 職場実習壮行会に参加する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">会 順</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) はじめのことば (2) 校長先生のはなし (3) 実習先の紹介 (4) 実習生めあての発表 (5) 在校生激励のことば (6) おわりのことば </div> <ol style="list-style-type: none"> 3. 体育館から退場する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場実習壮行会への参加は、小学部高学年以上とする。 ○ 実習先の紹介では、八ミリやスライドなどの資料を準備し、できるだけ具体的にわかりやすくなるよう配慮する。 ○ めあての発表は舞台の上で一人ずつ行わせ、職場実習への意識を高める。 ○ 激励のことばは、小学部、中学部から代表1名ずつとする。 ○ 全員で「エイ、エイ、オー」のかけ声をかけ合わせ、意欲づけを図る。 ○ 実習生が舞台から降りる際、在校生には激励の拍手を行わせる。 	

行事名	美化作業	時間	各1（7月，12月，3月）
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期始めや終りの特別美化清掃活動を通して、お世話になっている教室への感謝の意を表わすとともに、これからも校舎を美しくしていこうとする態度を育てる。 		
行事の内容		留意点	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 美化作業についての話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 意義やねらい。 ○ 作業内容 ○ 分担 2. 作業開始の放送を聞く。 3. 作業をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教室 ○ 廊下や玄関 ○ 特別教室や体育館 4. 後始末をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 後始末と点検 5. 作業の反省をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 美化作業によって日頃手の届かないところまできれいにする必要のあることを，具体例を示してわからせたり，感謝の気持ちを持たせたりする。 ○ 放送は児童生徒会の代表に行わせ，全校児童・生徒への意識づけを図る。 ○ それぞれの担当区域の教師に適切な指導を行なってもらうために，事前に打ち合わせをしておく ○ 普段，手の届かない場所については，特に念入りに行わせる。 ○ 作業用具の後始末は，児童・生徒に自主的に行わせ，教師は主にその確認にとどめる。 ○ 反省は，各学級ごとに行わせる。 	

学級指導

1. 基本的な考え方

学級指導は、学級・学校における児童生徒のよりよい人間関係を育てるとともに、児童生徒が日常生活を営むうえで、身近に直面する様々な問題に対処するために必要な行動の仕方を、学級を中心として指導する教育活動である。

精神発達遅滞児の教育における学級指導は、その指導内容から児童生徒によりよい生活習慣の定着を図るために、実践を重ねながら繰り返し指導することが望ましいとされている。

本校においても、児童生徒一人ひとりの能力や特性に応じて継続的に指導するとともに、一日の生活の中で随時指導を行っていくことで、学級指導の指導内容を十分達成していくことができると考える。

そこで、小学部では、学級指導の時間は特に設定せず日常生活の指導や生活単元学習等の教科・領域を合わせた指導形態の中で指導していくことにする。ただし、中学部や高等部においては、身体面・感情面の発達がみられることから保健・安全に関する指導と将来の生活にかかわる進路に関する指導、長期休業前後の指導などを特設して行うことにする。

2. 目標

生活の具体場面の活動を通して、児童生徒のよりよい人間関係を育てるとともに、心身の健康・安全を保持増進し望ましい生活習慣の定着を図る。

3. 配慮事項

- 中学部、高等部では、生徒の実態から特に指導が必要と考えられる主題を設定する。
- 原則として、学級を単位として指導するが、指導内容によっては、男女別に指導することもある。
- 学部ごとの内容別授業時数および月別授業時数は次のようになる。なお、偶発的・突発的な問題の取り扱いについては、指導内容を十分に検討し必要に応じて指導を行っていく。

(内容別授業時数)

内容 \ 学部	中学部	高等部
保健に関する指導	3	2
安全に関する指導	1	1
進路に関する指導	1	2
長期休業前後の指導	6	7
計	11	12

(各学部月別授業時数)

月 \ 学部	中学部	高等部
4	1	1
5	1	1
6	1	2
7	1	2
9	1	1
10	1	2
11	1	0
12	1	1
1	1	1
2	1	0
3	1	1

学級指導主題名一覧表

月	主 題 名			
	中 学 部	ページ	高 等 部	ページ
4	新しい学年	488	高等部の生活 進級して	493
5	自分のからだ	488	災害時の避難	494
6	見知らぬ人	489	男女の立場	494
7	夏休みの生活	489	男女の立場 夏休みの生活	494 495
9	2学期の生活	490	2学期の生活	495
10	身だしなみ	490	仕事と生活	496
11	先輩たちの仕事	491		
12	冬休みの生活	491	冬休みの生活	495
1	3学期の生活	492	3学期の生活	495
2	わたしたちと健康	492		
3	春休みの生活	492	春休みの生活	495

学級指導指導計画 中学部

主 題	新 しい 学 年	月	4	時間	1
目 標	○新しい学年としてのめあてをもち、進んで学級、学部のきまりを守り、楽しい学校生活を送ろうとする態度をつくる。				
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 新しい学年の心がまえについて話し合う。 ○ 中学部〇年生，卒業学年 ○ 中学部〇組 2. 日直当番のしかたを話し合う。 ○ 仕事内容 ○ 輪番方法 3. 学級のめあてやきまりをきめる。 ○ 学級のめあて ○ 学級のきまり 4. 日直当番の練習をする。 ○ 司会のしかた	○ 中学部〇年〇組をはっきり意識づける。 ○ 今までの経験を想起させ、日直の意味や仕事内容を理解させる。 ○ 個人のめあてを小カードにかかせ掲示させる。 ○ 学級のきまりをみんなで話し合わせ実行できるものにさせる。 ○ 教師が模範を示し、各自練習をさせる。	・カード ・仕事内容表 ・カード	・国Ⅲ－4 Ⅳ－6		

主 題	自 分 の か ら だ	月	5	時間	1
目 標	○健康診断を正しく受けて、自分の体位と健康状態を知り、健康なからだづくりに必要なことを実践しようとする態度を育てる。				
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 健康診断の結果の見方について説明を聞く。 ○ 身長，体重，胸囲 ○ 疾病（耳・鼻・眼） 2. 昨年の健康診断と今年の結果について話し合う。 ○ 成長のあと ○ 疾病の治療 3. からだづくりについて考える。 ○ 体の性差 ○ 運動や食事 ○ 健康の意味	○ 数量的にとらえられる生徒には、結果表を見て増減に気づかせる。 ○ 友だちと身長や体重を比べ、発育は一人ひとりに差があることに気づかせる。 ○ 規則正しい生活習慣や食事が健康なからだを作ることに気づかせる。	・健康診断記録表 ・掛図	・体・保 Ⅳ－3 Ⅴ－2		

主 題	見 知 ら ぬ 人	月	6	時間	1
目 標	○知らない人の応待や、日ごろの服装、行動について考えさせ、誘かい、いたずらなどの被害にあわないための具体的な生活態度を身につけさせる。				
主な学習活動・内容		留 意 点		準 備	関連内容
1. 知らない人から話しかけられたり、誘われたりした経験を話し合う。 2. 知らない人の誘いにのったり、言いなりになるとどうなるか、教師の話を書く。 3. 知らない人から誘われたり、道をたずねられたりしたとき、どうしたらよいかを考える。 4. 自分たちで注意しなければならないことを考える。 ○登下校や外出の時 ○服装等		○ 体験発表がない場合は、作文資料や実態資料を活用する。 ○ 被害のこわさを強調するあまり、おとなや異性へ不信感をうえつける結果にならぬよう配慮する。 ○ よくない状態を具体的に理解させ、場に応じて判断できるようにさせる。 ○ 外出時の言動や服装について考えさせる。		 ・新聞記事 ・他校の学校事例	・交Ⅲ-5 ・健・安 Ⅱ-7

主 題	夏 休 みの 生 活	月	7	時間	1
目 標	○夏休みの過ごし方について話し合い、計画を立て規則正しく楽しい生活ができるようにする。				
主な学習活動・内容		留 意 点		準 備	関連内容
1. 一学期の反省をする。 ○ よかったこと、悪かったこと 2. 夏休みについて話し合う。 ○ 期間 ○ 行事 ○ 学習計画や余暇利用 3. 夏休みのきまり・正しい過ごし方について調べる。 (1) 生活のしおろを読む。 (2) 夏休みの生活表の書き方を話し合う。 ○ きまり ○ 記入のし方		○ 夏休みのあるわけを考えさせ、規則正しい生活ができるようにさせる。 ○ 長期を要する病気の治療等は継続して行わせる。 ○ 生徒の実態に即した生活表を工夫し、準備しておく。		 ・こよみ ・生活のしおろ ・生活表	・国Ⅲ-3 ・国Ⅳ-6 ・決Ⅲ-3 ・保Ⅴ-8

主 題	2 学 期 の 生 活	月	9	時間	1
目 標	○ 学級や自分のめあてにしたがって、楽しく意欲的に学校生活を送ることができるようにする。				
主な学習活動・内容		留 意 点		準 備	関連内容
1. 夏休みの思い出を発表しあう。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しかったこと。 ○ 守れたこと。 ○ 守れなかったこと。 2. 二学期の行事を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動会 ○ 教育実習 ○ 勤労体験学習 ○ クリスマス会 3. 個人の目標や学級の目標を決める。 (1) めあてを決める。 (2) 小カードに書く。		○ 夏休みに行ったところや約束したことを中心に話し合わせる。 ○ 二学期中の行事表を準備しておき、つとめて子どもの発表を中心に導き出す。 ○ めあてを小カードに書かせ、子どもの意識を持続させる。 ○ きめためあてを張る場所を考えさせる。		・ 日記帳 ・ 行事表 ・ カード	・ 国Ⅲ－3 ・ 国Ⅳ－7 ・ 社Ⅴ－11

主 題	身 だ し な み	月	10	時間	1
目 標	○ からだや衣服などを清潔に保つことの大切さに気づかせ、身だしなみをよくすることに日常心がける習慣を養う。				
主な学習活動・内容		留 意 点		準 備	関連内容
1. 容儀検査をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ ハンカチ、ちり紙、つめ ○ 肌着の清潔さ ○ 洗面、歯みがき 2. 良い身だしなみと悪い身だしなみを見て話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 気持ちがよい。 ○ 感じがよい。 3. 身だしなみに関する学級や自分のめあてを決める。 <ul style="list-style-type: none"> ○ カード記入 ○ 検査方法 		○ 学級の係活動と関連させる。 ○ 学級の良い身だしなみをしている生徒や反対に注意を要する生徒を例に学習させる。 ○ 批判がききばしらないように気をつける。 ○ 自分でつとめて書かせ、検査方法についても気づかせる。		 ・ 良い生徒の例 ・ カード	・ 保Ⅳ－1 ・ 国Ⅳ－6

主 題	先輩たちの仕事	月	1 1	時間	1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 先輩たちの仕事の様子を見たり聞いたりして、働くことへの喜びと厳しさを感じとらせ、自分の進路への関心を高める。 				
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 先輩たちの仕事の様子を見る。 (1) 高等部生の職場実習のスライドを見る。 (2) 卒業生の職場での様子のスライドを見る。 2. 「働く」ことについての意味を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 働くことの楽しさ、厳しさ ◦ 働くとは 3. 自分の作業態度について先生といっしょに反省をする。 4. これからの作業態度について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 先輩たちの実習している様子を視聴させ、仕事をしている時の態度に気づかせる。 ◦ 親の仕事を発表させるなどして仕事への関心をもたせ、働くことの大切さをわからせる。 ◦ 自分の作業態度の欠点に気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • スライド • 投影機 	<ul style="list-style-type: none"> • 国Ⅲ - 1 • 国Ⅲ - 4 • 職Ⅳ - 2 		

主 題	冬休みの生活	月	1 2	時間	1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 冬休みを安全に規則正しく過ごすための計画を立て、それにしたがって生活できるようにする。 				
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 二学期の反省をする。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ よかったこと、悪かったこと: 2. 冬休みについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 期間 ◦ 行事 ◦ 学習計画や余暇利用 3. 冬休みのきまり、正しいすごし方について調べる。 (1) 生活のしおりを読む。 (2) すごし方について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 学習内容 ◦ 遊び ◦ 応待のし方 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 夏休みに比べ、冬休みは期間が短いことに気づかせる。 ◦ 年末年始の行事に対する対応のし方についても考えさせる。 ◦ しおりに書かれている要点をカードに準備し、一人ひとりに応じた課題をきめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • こよみ • 生活のしおり 	<ul style="list-style-type: none"> • 国Ⅲ - 3 • 国Ⅳ - 6 • 国Ⅳ - 14 		

主 題	3 学期 の 生 活	月	1	時間	1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年の決意をあらたにし、学級や自分のめあてにしたがって、楽しく意欲的に学校生活をおくることができるようにする。 				
主な学習活動・内容		留 意 点		準 備	関連内容
1. 正月の思い出を発表し合う。 2. 3学期の行事を調べる ○ 学習発表会 ○ 持久走大会 ○ 卒業式 ○ お別れ遠足 3. 3学期のめあてと約束について話し合い決める。(個人)		<ul style="list-style-type: none"> ○ 実現可能なめあてを立てさせる。 ○ きまつためあては小カードに書かせ、子どもの意識を持続させる。(教室に掲示する) 		<ul style="list-style-type: none"> ・行事表 ・カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・交Ⅲ-5 ・国Ⅲ-2 ・社Ⅳ-5

主 題	わたしたちと健康	月	2	時間	1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の健康と服装について理解させ、病気を予防しようとする態度を育てる。 				
主な学習活動・内容		留 意 点		準 備	関連内容
1. いまの洋服の枚数を調べる。 ○ うす着 ○ 厚着 2. うす着と健康についての教師の話聞く。 3. 冬の病気(特にカゼ)の予防について話し合う。 ○ うす着 ○ うがい		<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒にわかりやすく具体的な講話を準備する。 ○ 実践化につながるよう、家庭との連携を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保Ⅳ-2 ・国Ⅲ-1 ・保Ⅳ-4

主 題	春 休 みの 生 活	月	3	時間	1
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進級に対する喜びと期待感をもって春休みを計画的にすごすことができるようにする。 				
主な学習活動・内容		留 意 点		準 備	関連内容
1. 1年間の反省をする。 2. 新学年に対する希望や抱負について話し合う。 3. 春休みのすごし方についてしらべる。		<ul style="list-style-type: none"> ○ 春休みの期間や行事等もわからせ、進級に対する意識の高揚をはかり、規則正しい生活ができるように親との連携を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・しおり 	<ul style="list-style-type: none"> ・国Ⅲ-3 ・国Ⅳ-6 ・決Ⅲ-3

高等部

主題	高等部の生活	月	4	時間	1
目標	○互いに自己紹介をし合い学級になじませるとともに、一年間の主な行事を調べさせ高等部生活への見通しを持たせる。				
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 自己紹介をする。 (1) 自分のことを発表する。 ○ 名前 ○ 出身校 ○ 生年月日 ○ 趣味など (2) 友達について知りたいことを聞く。 2. 主な行事を調べる。 (1) 学校全体での行事を調べる。 ○ 遠足 ○ 運動会など (2) 学部単独での行事を調べる。 ○ 校内実習 ○ 職場実習 ○ 臨海学校など	○ 発表内容を示したり、名前カードを準備したりしてスムーズに発表できるようにする。 ○ 家族のことや通学時の様子など自由に質問させる。 ○ 中学部から来た生徒に、昨年のことを発表させる。 ○ 行事予定表などを準備する。 ○ 校内実習や職場実習など、働く時の態度を学ぶ行事が多くあることに気づかせる。	・名前カード ・通学状況調査書 ・行事予定表 ・スライド	・国Ⅳ-5 7 ・生・交Ⅲ-2 ・算Ⅲ-7 ・職Ⅳ-2 V-23		

主題	進級して	月	4	時間	1
目標	○春休み中の生活について反省させたり、進級した抱負を発表させたりすることを通して、新学年への自覚を持たせる。				
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容		
1. 春休みの反省をする。 ○ がんばったこと ○ 悪かったこと ○ 思い出に残ったこと 2. 進級の抱負を話し合う。 (1) 上級生としての役割について話し合う。 (2) 抱負を発表する。	○ 手伝いや体力作りなど、継続して行ったことを発表させる。 ○ 旅行や遊びに出かけたことなど家族との思い出を中心に発表させる。 ○ 新入生のめんどろをみたり、学部の中心となったりしていろいろな活動に参加しなければならないことに気づかせる。 ○ 昨年度の活動の反省や上級生としての役割などに関連をはかりながら考えさせる。	・手伝いカード ・日記 ・行事のスライド ・昨年度の目標カード	・国Ⅴ-4 ・算Ⅲ-10 ・生・交Ⅲ-5 ・国Ⅴ-6 7 ・社Ⅴ-5 ・生・決Ⅲ-3		

主 題	災 害 時 の 避 難	月	5	時 間	1
目 標	○火災や地震時の様子に気づかせ、災害時の身の守り方をわからせるとともに、集団で避難する時に安全な行動をとろうとする態度を養う。				
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 火災時の避難について話し合う。 (1) 火災の様子を調べる。 ○ 火の様子 ○ 煙の様子 (2) 避難のし方を話し合う。 ○ 身の守り方 ○ 避難経路	○ スライドや写真を準備し、火や煙の様子に気づかせる。 ○ 煙を吸わないためのハンカチの使い方や移動する時の姿勢を實際活動を通してわからせる。	・スライド ・写真 ・ハンカチ ・避難経路 図	・生・健Ⅱ-6 ・社V-36 ・国V-6 13		
2. 地震時の避難について話し合う。 (1) 地震の様子を調べる。 ○ 建物 ○ 地面 (2) 避難のし方を話し合う。 ○ 身の守り方 ○ 避難経路	○ スライドや写真などから、落下物がありうることに気づかせる。 ○ 机の下への隠れ方などを實際活動を通してわからせる。	・スライド ・写真 ・避難経路 図	・理V-21 ・国V-7		
3. 集団で避難する時に注意することを話し合う。	○ 他の人にけがをさせないようにすることに特に注意させる。		・生・健Ⅲ-17 ・社V-11		

主 題	男 女 の 立 場	月	6～7	時 間	2
目 標	○男女の違いに気づかせることを通して、お互いに助け合いながら生活することの大切さをわからせる。				
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 男女の違いについて話し合う。 (1) 外観の違いを調べる。 ○ 服装 ○ 筋肉 ○ 骨格など (2) 仕事から見た男女の違いを考える。	○ 男子がより活動的な服装であることに気づかせる。 ○ 男子の方ががっしりとしていることに気づかせる。 ○ 男子は力仕事、女子は細かな仕事が多いことに気づかせる。	・ズボン ・スカート ・職業調査表	・社Ⅳ-7 ・算Ⅲ-4 ・体Ⅳ-2/3 ・理V-1		
2. 男女のかかわり方について話し合う。 (1) 助け合う面を考える。 (2) 競い合う面を考える。	○ 男女の違いと実際の生活場面とを関連づけながら考えさせる。 ○ 学習や手伝いなど、それぞれの特性を生かしながら競いあうことが大切なことに気づかせる。		・社V-8 ・国V-6 7 ・家V-35		

主 題	〇〇休みの生活	月	7・12・3	時間	各1
目 標	〇 休み中の過ごし方について話し合わせ、規則正しい生活をおくろうとする心構えを持たせるとともに、地域社会へすすんでかかわろうとする態度を育てる。				
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 〇学期の反省をする。 〇 学級・個人目標の反省 2. 休み中の計画を立てる。 (1) 毎日努力することを話し合う。 〇 手伝い 〇 体力作りなど (2) 一日の生活について考える。 〇 家の中での活動 〇 屋外での活動 (3) 地域や家族単位の活動について調べる。 〇 家族旅行など 3. 外出時の注意を調べる。	〇 目標カードなどをもとに良かった点悪かった点を発表させる。 〇 家庭内の仕事や住んでいる地域の施設などから考えさせる。 〇 季節の特徴に気づかせることにより、活動内容と時刻の組み合わせを考えさせる。 〇 休み中に計画されているものを発表させ、できるかぎり参加するようにうながす。 〇 生活のしおりなどを参考にして考えさせる。	・目標カード ・学習帳 ・がんばり表 ・生活のしおり	・国Ⅳ－6 7 ・算Ⅲ－10 ・生・自Ⅱ－7 ・社Ⅴ－10 ・家Ⅴ－37 ・生・健Ⅲ－11 15		

主 題	〇学期の生活	月	9・1	時間	各1
目 標	〇 休み中の生活について反省させたり、主な行事について調べさせたりすることなどを通して、新学期への心構えを持たせる。				
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
1. 休み中の生活について反省する。 (1) 努力点の反省をする。 〇 手伝い 〇 体力作りなど (2) 生活態度の反省をする。 〇 起床 〇 就寝 〇 屋外での活動など (3) 家庭以外での活動を発表する。 〇 ラジオ体操 〇 旅行など 2. 新学期の行事を調べる。 〇 学部単位 〇 学校全体 3. 新学期の目標を決める。 〇 学級目標 〇 個人目標	〇 毎日継続して行った生徒に対して賞賛を与える。 〇 日程表や学習帳などをもとに、毎日規則正しい生活がおくれたか反省させる。 〇 ラジオ体操カードや日記をもとにして、どのように社会とのかかわりを持てたか発表させる。 〇 行事表をもとに、これからの活動の大まかな流れに気づかせる。 〇 前学期の反省や一日の生活の流れ等と関連づけて、具体的に決めさせる。	・がんばり表 ・日程表 ・学習帳 ・ラジオ体操カード ・日記 ・行事表 ・目標カード	・算Ⅲ－10 ・国Ⅴ－7 ・生・基Ⅲ－11 ・国Ⅴ－20 ・算Ⅲ－7 ・国Ⅴ－6		

主 題	仕事と生活		月	10	時間	2
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間はいろいろの仕事を分担し合って社会生活を営んでいることをわからせ、仕事への興味や関心を深める。 ○ 職業生活についての初歩的な知識を身につけさせ、自分の将来の進路を適切に選択する心構えをもたせる。 					
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容			
<p>1. 身近な職業について話し合う。</p> <p>(1) 仕事について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭生活の様子 ○ 自分の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部や学級の係 ・ 家庭での役割 <p>(2) 日常生活で目にふれる職業について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろの職業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転手、配達人、店員、事務員、給食婦、看護婦、警察官、セールスマン、医師、教師、理容師……など。 ○ 職業の分類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造に従事する仕事 ・ サービスの仕事 ・ 資格の必要な仕事 <p>2. いろいろの職業について調べる。</p> <p>(1) 働くしくみについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先輩たちの職場 ○ 市内（県内）の職場 <p>(2) 働くことに必要な心構えについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力養成 ○ 身だしなみ（服装、容姿など） ○ 余暇のすごし方 …… など <p>3. 将来の進路について語り合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 就職、各種学校への進学 ○ 施設入所……など。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家の人々の仕事調べをさせ、ちがった仕事を分け合って生活していることに気づかせる。 ○ 学校の登下校で目にふれる働く人々のようすより、いろいろの仕事があることに気づかせる。 ○ お父さんたちの職業調べや新聞の求人らんをもとにして、いろいろな職業があることに気づかせる。 ○ 屋内や屋外の仕事、物をつくる仕事、人と応対する仕事、働く時間などに分けさせ、職業の特徴に目を向けさせる。 ○ 会社で働く先輩たちの声を通して交通機関、通勤時間、勤務時間、賃金、体力、保険、休日などについて紹介し、働くことへのイメージを深める。 ○ 職場実習の事例などによって、働くためにどのようなことに心がけたらよいか考えさせる。 ○ 生徒の実態に即して、適切な進路が選択できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭調書 ・ 新聞 ・ 県内求人一覧表 ・ 先輩の様子（VTR、カセット） ・ 県内求人一覧表 ・ 職場実習 V T R ・ 施設の榮 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国 V - 1 8 ・ 職 V - 1 ・ 社 V - 6 ・ 社 V - 2 4 2 5 ・ 国 V - 1 7 ・ 生・社 III - 1 ・ 職 V - 2 4 2 5, 3 2 3 3, 3 5 3 6, 3 7 3 8, 4 1 ・ 社 V - 2 7 ・ 社 V - 1 ・ 家 V - 4 0 			